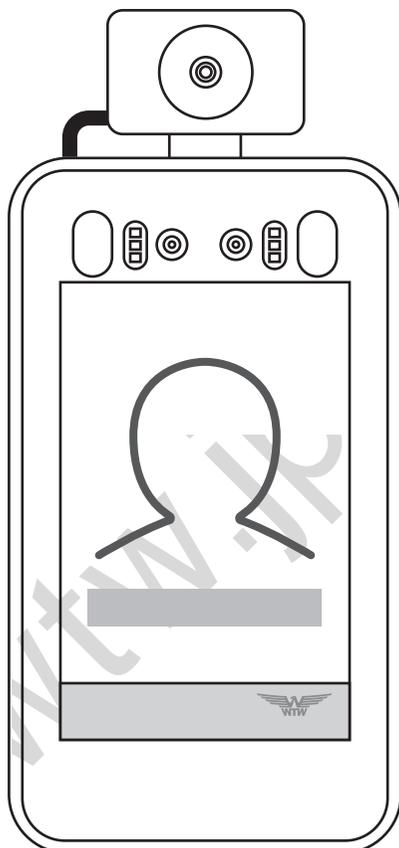


# 顔認証機能付きサーモセンサーシステム

業務用



WTW-IPWS1456TG

## 取扱説明書

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また本書は保証書も兼ねています。必ず、お買い上げ日・お客様名・販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

# この取扱説明書について

---

※ この取扱説明書《設置・接続説明書兼用》(本書)は、本製品「WTW-IPWS1456TG」を正しく、安全に使用・設置・接続していただくための内容を記載しています。

## もくじ

はじめに .....	02
安全上のご注意 .....	03
使用上のお願い .....	05
本製品の概要 .....	06
各部のなまえ .....	10

### 設置・接続編

安全上のご注意 .....	13
設置上のお願い .....	15
設置する .....	16
設置の流れ .....	16
スタンド]などに取り付ける場合 .....	17
付属のポールスタンドに取り付ける場合 .....	19
配線・接続する .....	21
インターフェースコネクタの種類 .....	21
インターフェースコネクタの機能と説明 .....	22

### 設定・運用編

使いかた .....	23
検知・認証のしかた .....	23
設定する .....	24
設定の流れ .....	24
設定項目一覧 .....	25
システムの管理 .....	26
映像と音声 .....	30
ディスプレイ .....	31
警報 .....	34
ネットワーク .....	36
ストレージ .....	37
インテリジェント分析 .....	38

## 免責事項について

- 本製品および付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負わないものとします。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - \* 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  - \* お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
  - \* お客様による本製品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  - \* 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用できないことで被る不便・損害・被害
  - \* 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - \* お客様を特定できる情報(映像・記録など)が何らかの理由により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
  - \* 本製品・ソフトウェアおよび関連データの盗難、紛失などによる被害または関連して発生した被害
  - \* 登録した情報内容が何らかの原因(ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本製品を初期化する場合を含む)により、消失してしまうこと
- 本製品は、ネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。弊社はこのような被害、または関連して発生した被害に関して一切の責任を負わないものとします。
  - \* 本製品を経由した情報の漏えいや流出
  - \* 悪意を持った第三者による本製品の不正操作
  - \* 悪意を持った第三者による本製品の妨害や停止
- 本製品の修理・交換・点検などを行う場合、本製品とともに保存・記録データを外部へ持ち出すこと、あるいは持ち出しにより生じた一切の責任を負わないものとします。
  - ※ 本製品に保存または記録された個人情報を含むデータは、本製品内蔵の記憶装置に保存されます。そのため、本製品の修理・交換などを行う際、本製品とともにデータが持ち出される場合が考えられますので、あらかじめすべての保存・記録データを削除してください。
  - ※ 本書の内容については、改良のため予告なしに変更する場合があります。

## 個人情報の保護について

- 本製品を使用したシステムで撮影・記録された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、情報を適正にお取り扱いください。

## 設置・運用にあたっての注意事項

- 本製品は、内蔵カメラにより撮影された画像を直接またはネットワークを介して他の機器へ転送・記録し、閲覧できる機能を搭載しています。本製品を設置する際は、設置場所や周囲の環境、映り込む画像などの適正を確認し、プライバシーの保護に配慮した設置、運用を行ってください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

- 表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）
- 図記号の説明

 <b>警告</b>	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
 <b>注意</b>	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

	図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。
	図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

## 使用するとき

### 警告

 禁止	●本製品の設置・電気工事・配線工事・点検は必ず専門の業者に依頼する (感電・ショートによる火災、器物損壊の原因)	 禁止	●本製品を落とさない、強い衝撃を与えない (けが・故障の原因)
 禁止	●本体のすき間や穴に異物を入れない (故障・火災・感電の原因)	 分解禁止	●改造はしない。また、修理技術者以外の人、分解したり修理をしない (火災・感電・けがの原因)
 禁止	●可燃性ガスや腐食性ガスが発生する場所などに設置、使用しない (爆発や取付部が劣化し、落下によるけが・事故の原因)	 水ぬれ禁止	●本製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショート・感電・故障の原因)
 禁止	●本製品に、火気や引火性のものを近づけない (故障・火災の原因)	 指示	●異常があるときは、放置せずに専門の業者に依頼する (故障・思わぬ事故の原因)
 禁止	●ガラス面を傷つけたり叩いたりしない (ガラスが割れて、けが・故障の原因)	 指示	●電源プラグ、ACアダプターは清潔にする (発火・火災の原因)
 指示	●ACアダプターを抜く時は、電源コードを持たずに必ず、ACアダプターを持って引き抜く (感電やショートによる発火の原因)	 指示	●電源は交流 100V のコンセントを単独で使用する (火災・感電の原因)
 指示	●本製品は屋内に設置し、屋内で使用する (感電・故障の原因となります。)	 指示	●電源プラグは根元まで確実にさし込む (火災・感電の原因)

## 警告



禁止

- 本製品の付属品を他の機器に使用しない  
(故障の原因)



禁止

- 不安定な場所や振動の多い場所に設置しない  
(落下・転倒によるけがや事故の原因)



禁止

- 高温多湿になる場所、水のかかる場所、結露する場所に設置しない  
(感電・漏電火災・事故の原因)



禁止

- 火気の近くに設置しない  
(火災・感電・故障の原因)



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜きさししない  
(ショート・感電・けがの原因)



禁止

- 電源コードやケーブルを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しない(無理に曲げる・引っ張る・ねじる・重い物を載せる・挟みこむなど)

(電源コードやケーブルがが傷付いて、火災・感電・故障の原因)



禁止

- ACアダプターや電源コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントのさし込みがゆるい場合は使わない

(火災・感電・けが・ショートの原因)



禁止

- ACアダプターは本製品に付属のもの以外を取り付けない

(故障・火災・感電の原因)



禁止

- 蒸気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しない

(故障の原因)

## 注意



禁止

- シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使用してお手入れをしない

(本製品の故障・劣化の原因)



禁止

- 本製品のパネル部(カメラ・LED・モニター画面・)、体表面温度測定ユニット、体表面温度測定ユニット接続ケーブルに直接触らない

(誤動作・誤検知・故障の原因)



指示

- 本体の角度を調節するとき・設置するときには、隙間に指などを挟み込まないように注意する

(けがの原因)

## 使用上のお願い

---

- ネットワークを介して設定・管理する場合は、第三者による意図しないアクセスを防止するため、ログインパスワードを設定し、定期的に変更してください。「設定するユーザー→パスワード(29ページ)」参照
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する他の機器およびソフトウェアに記録された情報内容は「個人情報」に該当する場合がありますので取り扱いに十分に注意してください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する他の機器およびソフトウェアに記録された情報内容は「個人情報」に該当する場合がありますので取り扱いに十分に注意してください。また、本製品および本製品とともに使用する他の機器、ソフトウェアを廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡す場合には、その取り扱いに十分に注意してください。
- 本製品に保存または記録された個人情報を含むデータは、本製品内蔵の記憶装置に保存されます。そのため、本製品の修理・交換などを行う際、本製品とともにデータが持ち出される場合が考えられますので、あらかじめすべての保存・記録データを削除してください。
- 本製品は医療器具または医療用としてご使用いただけません。
- 本製品は、音声信号を本体スピーカーまたは外部スピーカーへ出力します。設置後は音声・音量によるトラブルにご注意ください。
- 本製品は赤外線を検知して体表面温度を測定します。本製品に熱を発するものを近づけないでください。また、直射日光の当たる場所で使用しないでください。誤検知・誤動作する原因となります。
- 下記のような状態で検知すると、誤検知・誤動作する場合があります。
  - \* 下を向いたり横を向いたりしている
  - \* サングラスや帽子をつけている
  - \* 顔が前髪やひげなどで覆われている
  - \* 手やハンカチなどで顔を覆っている。
- 体表面温度測定ユニット接続ケーブルを傷つけたり、断線しないようにご注意ください。
- ACアダプターは確実に接続してください。
  - ※本製品に電源スイッチはありません。ACアダプターを接続すると電源が入ります。
- 本製品は、パソコンのウェブブラウザを使用して各種設定を行います。ご使用の環境やウェブブラウザのバージョンなどにより正常に設定・閲覧ができない場合は、ウェブブラウザを変更し、各種設定を行ってください。
  - ※「Microsoft Edge」「Internet Explorer」などは、一部の機能が正常に設定できない場合があります。本製品の設定は、「Google Chrome」「Firefox」などをご使用ください。

# 本製品の概要

本製品は、顔認証カメラ・体表面温度測定センサーを搭載し、入室時に検温と登録者情報、マスク着用有無を確認します。発熱者、マスク非着用者を検知した場合または未登録者には、体温表示や警報を発信し入室の可否信号を自動ドアなどへ出力することができます。

本製品は、検知された情報を本体に保存するだけでなく、ネットワーク(LAN)を介し専用のアプリケーション「CMS-WTW123」に送信することも可能です。

「CMS-WTW123」を導入することで、多数の端末からの情報を一元管理できます。

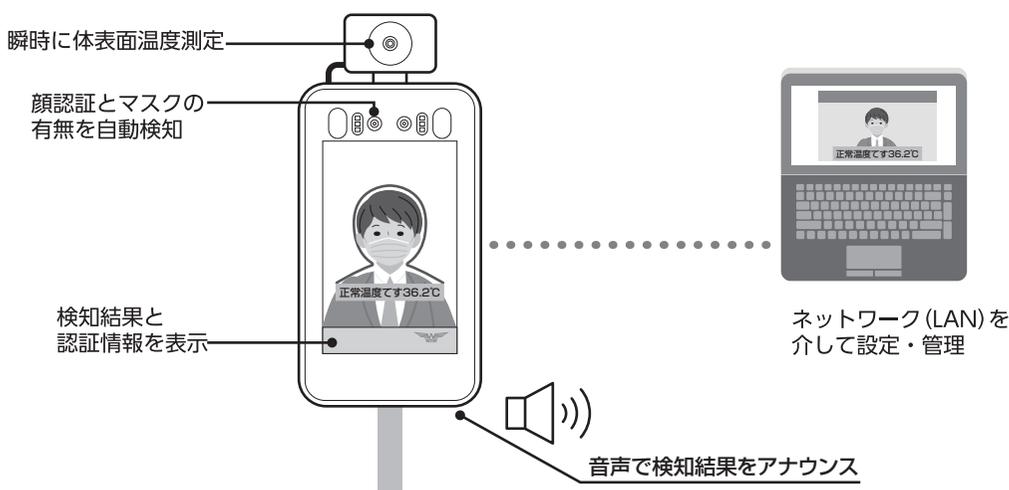
※「CMS-WTW123」は、下記のホームページからダウンロードしてご使用ください。

・ソフトウェアダウンロード時の通信費は、お客様負担となります。

<https://www.wtw.jp/ccd/download/software/WTW-IPWS1456TG.zip>

## 【特徴】

- 顔認証カメラによる顔認証とマスク着用検知機能
- 体表面温度測定センサーによる体表面温度測定機能
- 被検者へ検知結果や警報をモニター表示と音声でお知らせ機能
- 自動ドアなどへ信号を出力し、被検者の入退室の可否を制御
- 被検者の情報を記録・保存する内部ストレージ機能
- 顔認証カメラにより登録された顔情報をもとに認証・制限・管理
- 認証条件や検知時間などの各種設定をウェブブラウザから設定
- 豊富なインターフェースの装備により、さまざまな外部装置と連動し、動作を制御
- 専用アプリケーション「CMS-WTW123」を使用して複数台を一元管理

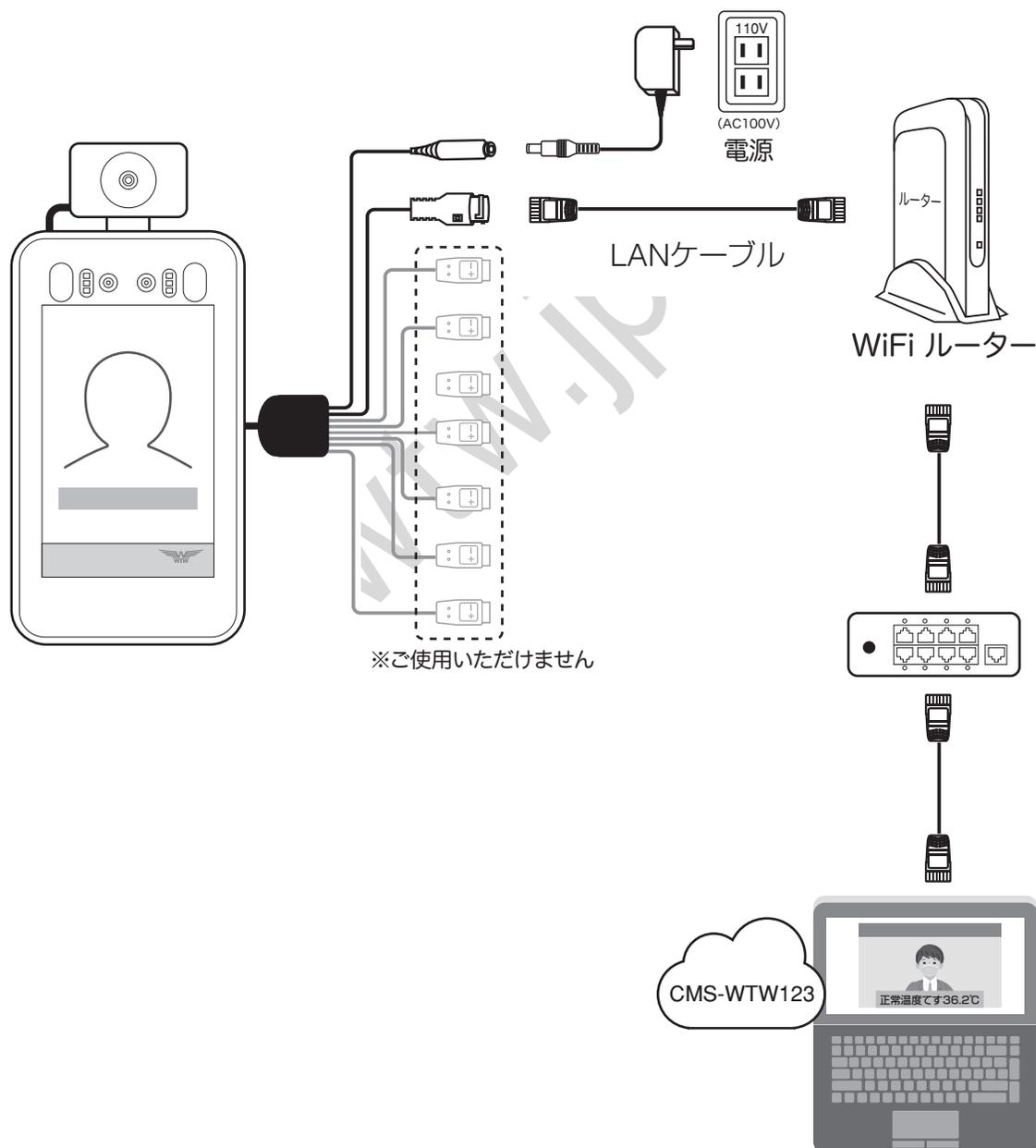


## 「CMS-WTW123」を使用したネットワーク(LAN)システムの使用例

- ビルや工場、施設内のネットワーク(LAN)に接続された端末(本製品)から送られる情報を一元管理できます。
- 端末ごとの情報を包括的に把握することで、より効率よく、認証条件や認証スケジュールを変更・設定できます。

※認証条件や認証スケジュールなどの変更・設定は、ウェブブラウザで各端末にログインして行ってください。

設定・運用図「設定する(24ページ)」



# 本製品の概要(つづき)

## ▶ 設置・導入例

### 特定の人が入り出る場所

オフィス・会社・工場・研究施設・学校・マンションなど



※イメージ



※イメージ

### 不特定多数の人が入り出る場所

公共施設・ホテル・ホール・美術館・飲食店・美容院など



※イメージ



※イメージ

※本製品は医療器具または医療用としてご使用いただけません。

## ▶ 本製品の検出機構について

本製品は、以下検出機構を装備しています。

### 顔認証機構



登録者と未登録者を判断。  
登録者は、登録者情報と照  
合し個人を特定します。

### 体表面温度測定機構



体表面温度を測定し、表示  
します。

### マスク着用検知機構



マスク着用の有無を検知し、  
表示します。

## ▶ 本製品のできること

本製品は、主に以下のことができます。

### 体表面温度測定やマスク着用の有無を監視したい

- 高温者やマスク非着用者を監視し、注意を促します。

インテリジェント分析

▶ 38ページ

### 顔認証機能を使用して、セキュリティ管理したい

- 社員や生徒以外の入室を制御します。

画像をインポート

▶ 41ページ

### 認証条件の組み合わせを変えたい

- 検出条件を個別に指定できます。

基本設定

▶ 38ページ

### 検出時間や曜日をスケジュールリングしたい

- 1週間単位で時間や曜日を指定できます。

アーミングスケジュール

▶ 41ページ

### 一日の高温者やマスク非着用者の人数を知りたい

- 顔認証の記録を一覧表示したり、集計できます。

顔認識の記録

▶ 43ページ

### 個人の入室時間を調べたい

- 社員や生徒の入室時間が分かります。

顔認識の記録

▶ 43ページ

### 屋内監視カメラとして使用したい

- 動きに反応して映像を自動保存します。

警報

▶ 34ページ

### 異常検知時に連絡が欲しい

- 異常検知時にはメールを自動送信してお知らせします。

警報メールを送信

▶ 37ページ

### 離れた場所で管理したり、検出情報を確認したい

- ネットワークを介してウェブブラウザで制御します。

設定する

▶ 24ページ

### 複数台を一度に管理したい

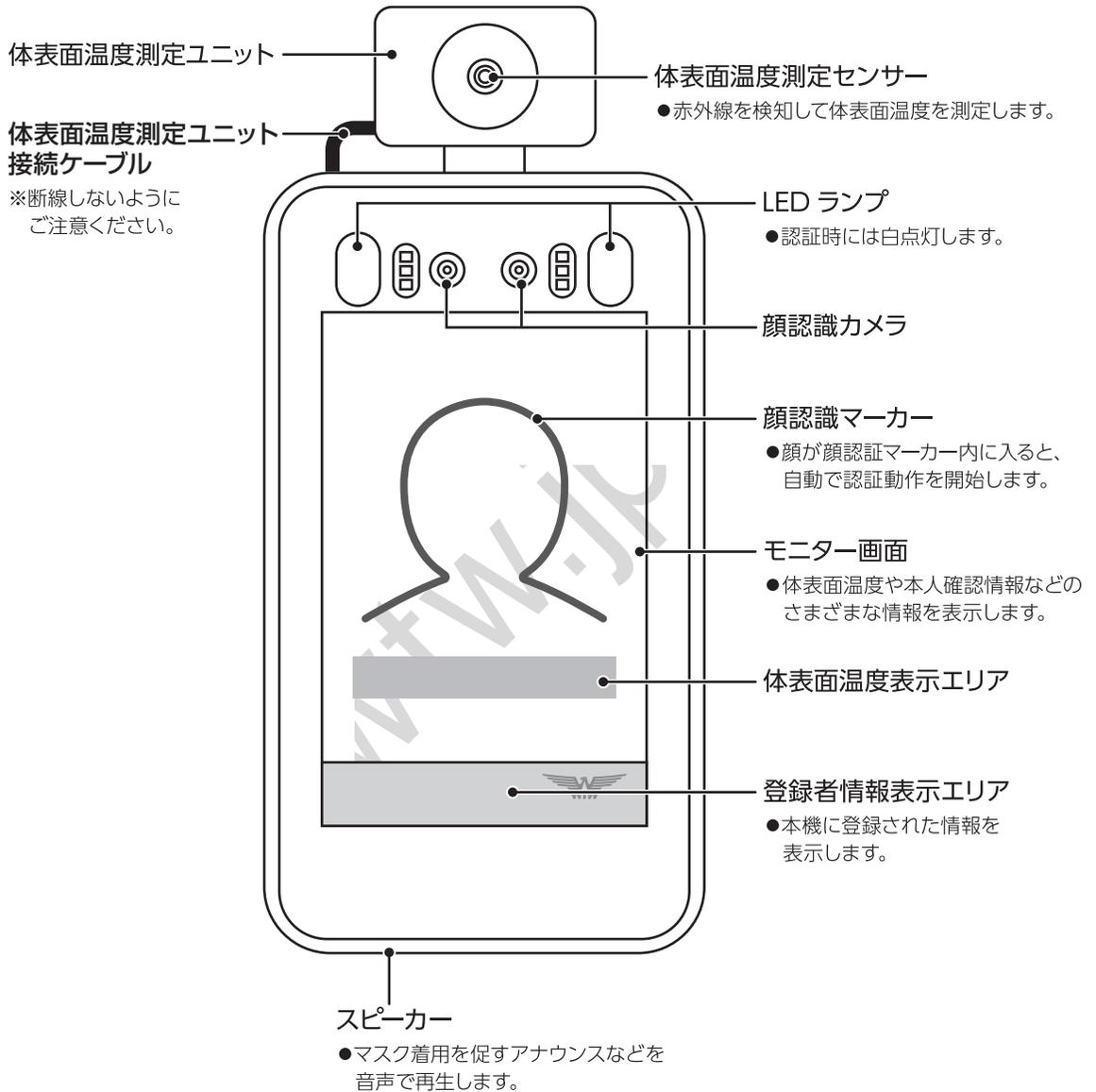
- 専用ソフトウェアを使用して一元管理します。

CMS-WTW123を使用する

▶ 44ページ

# 各部のなまえ

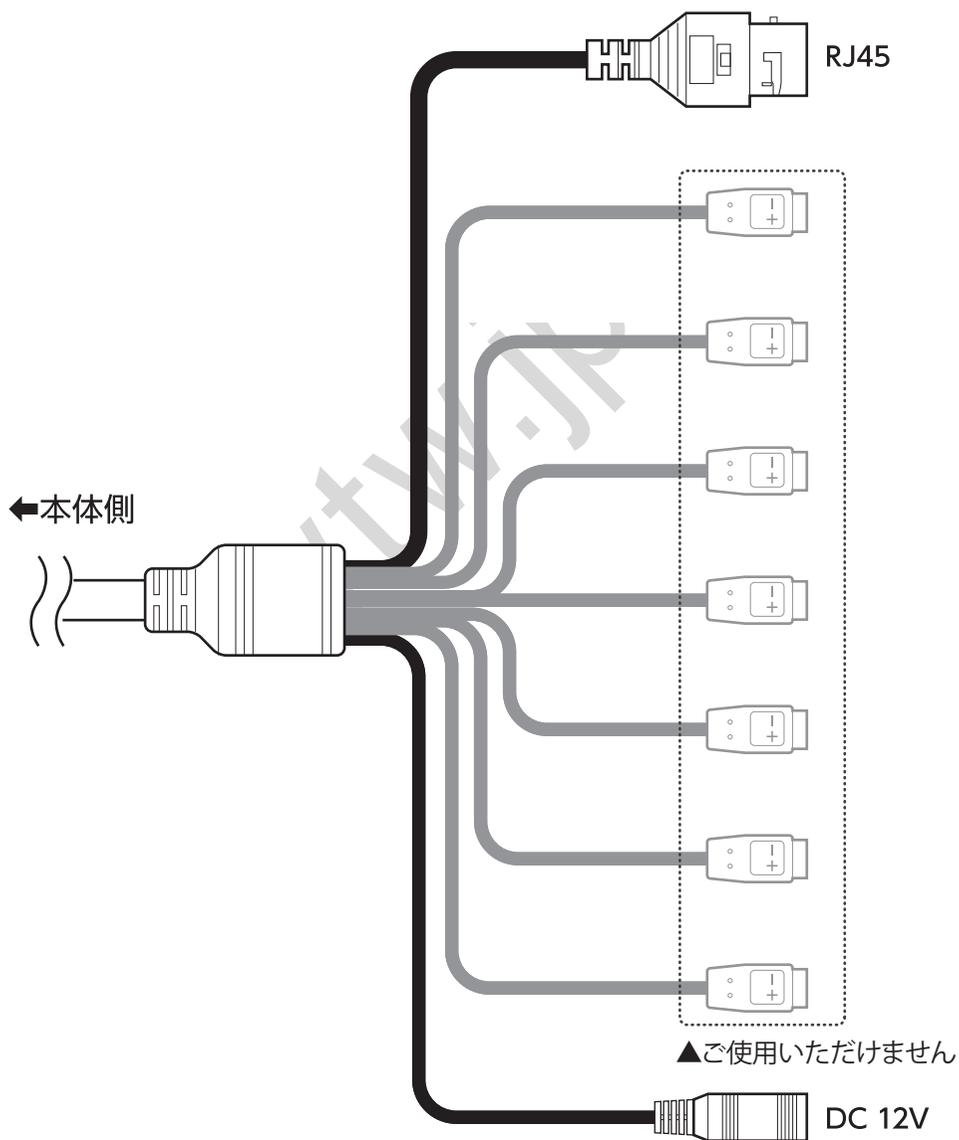
## 【本体】



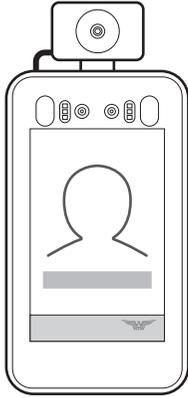
## 【インターフェースコネクタ】

### ⚠ 警告

- 電源コードやケーブルを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しないでください。(無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむなど) 電源コードやケーブルが傷付いて、火災・感電・故障の原因となります。



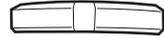
## 【各部のなまえ(つづき)】



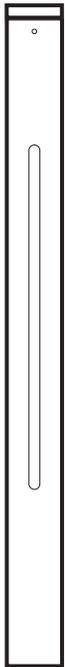
本体 × 1個



ブラケット × 1個  
(本体に取付済)



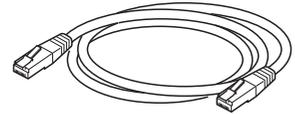
固定リング × 1個  
(ブラケットに取付済)



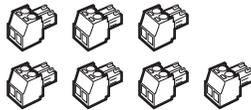
ポール × 1個



ACアダプター × 1個



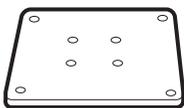
LANケーブル (RJ-45) × 1個



アタッチメント × 7個



六角レンチ × 1個



台座 × 1個

### 付属品



六角レンチ × 1個



六角穴付ボルト × 4本

# 安全上のご注意

**必ずお守りください**

- 本製品の性能を十分発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、設置・電気工事・配線工事・点検は必ず専門の業者が行ってください。

必ず設置前に次の注意事項をよくお読みいただき、安全に正しく設置を行ってください。

- 表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）
- 図記号の説明

 <b>警告</b>	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。		図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。
 <b>注意</b>	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。		図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

## 設置するとき

### 警告

	● 電源コードやケーブルを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しない（無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむなど） （電源コードやケーブルが傷付いて、火災・感電・故障の原因）		● ACアダプターや電源コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントのさし込みがゆるい場合は使わない （火災・感電・けが・ショートの原因）
	● 不安定な場所や振動の多い場所に設置しない （落下・転倒によるけがや事故の原因）		● 本製品の付属品を他の機器に使用しない （故障の原因）
	● 高温多湿になる場所、水のかかる場所、結露する場所に設置しない （感電・漏電火災・事故の原因）		● ACアダプターは本製品に付属のもの以外を取り付けない （故障・火災・感電の原因）
	● 可燃性ガスや腐食性ガスが発生する場所などに設置、使用しない （爆発や取付部が劣化し、落下によるけが・事故の原因）		● 蒸気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しない （故障の原因）
	● 取付時などにモニター画面を押さえたり、叩いたり、落としたり、衝撃を与えない （故障・けがの原因）		● 火気の近くに設置しない （火災・感電・故障の原因）
			● ぬれた手で電源プラグを抜きさしたり、設置や配線工事をしない （ショート・感電・けがの原因）

## 警告



指示

- 本製品は屋内に設置し、屋内で使用する  
(感電・故障の原因となります。)



指示

- 総質量に耐える場所に取り付ける  
(落下・転倒によるけがや事故の原因)



指示

- 設置するときは、本製品と取り付ける装置の電源を切ってから行う  
(感電・故障の原因となります。)



指示

- AC アダプターの1次・2次配線は施工運用時に傷つかないように配線し、踏まれたり引っ掛けるおそれがある場合は、保護ダクトなどを使用し保護する  
(故障・火災・感電の原因)



指示

- 電源プラグ、ACアダプターは清潔にする  
(発火・火災の原因)



指示

- 電源は交流 100V のコンセントを単特で使用する  
(火災・感電の原因)



指示

- 電源プラグは根元まで確実にさし込む  
(火災・感電の原因)



指示

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず、電源プラグを持って引き抜く  
(感電やショートによる発火の原因)

## 注意



禁止

- 直射日光の当たるところに設置しない  
(故障・火災の原因)



禁止

- 本製品のパネル部 (カメラ・LED・モニター画面・)、体表面温度測定ユニット、体表面温度測定ユニット接続ケーブルに直接触らない  
(誤動作・誤検知・故障の原因)



禁止

- ラジオ・テレビなどの近くや強い磁界を発生する装置などの近くに設置しない  
(誤動作・誤検知の原因)



指示

- 本体の角度を調節するとき・設置するときには、隙間に指などを挟み込まないように注意する  
(けがの原因)



指示

- ファームウェアのアップデートは、安定したネットワークに接続された状態で行う

ファームウェアのアップデートを行うと、本製品が自動的に再起動します。ファームウェアのアップデートを行うときは、本製品の再起動により外部装置が誤動作しないことを確認の上、行ってください。

(ファームウェアのアップデートに失敗し、本製品の故障・誤動作の原因)



指示

- 「Boot Update Tool」を実行するときはウイルス対策ソフトを停止し、ファイアウォールをオフにした状態で実行する

(ファームウェアのアップデートが正常に行われず、本製品の故障・誤動作の原因)

# 設置上のお願い

- 本製品の設置・電気工事・配線工事・点検は必ず専門の業者が行ってください。
- 設置するときは、安定したところに確実に設置してください。また、がたつきなどがないか定期的に確認してください。
- ACアダプターやインターフェースコネクタは確実に接続してください。  
※本製品に電源スイッチはありません。ACアダプターを接続すると電源が入ります。
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
  - ・ ちゅう房内などの蒸気や油分の多い場所
  - ・ 溶剤および可燃性ガスなどの特殊環境の発生する場所
  - ・ プール、栽培用ビニールハウス内など、薬剤を使用する場所
  - ・ 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
  - ・ 火山地帯、温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
  - ・ 使用温度範囲を超える場所「仕様（40ページ）参照」
  - ・ 車両、船舶、工場ライン上などの振動の多い場所
  - ・ エアコン近くなど、急激に温度が変化する場所  
(モニター画面が曇ったり、結露するおそれがあります)
- 本製品は医療器具または医療用としてご使用いただけません。
- 本製品は、音声信号を本体スピーカーまたは外部スピーカーへ出力します。設置後は音声・音量によるトラブルにご注意ください。
- 太陽光や照明など高輝度光源による光が直接、または反射して本体のカメラに当たると誤動作・誤検知するおそれがあります。設置するときは光が当たらないようにご注意ください。
- 本製品は、体表面温度測定センサーにより体表面温度を測定します。赤外線照明が当たる場所に設置すると誤動作・誤検知するおそれがあります。
- 体表面温度測定ユニット接続ケーブルを傷つけたり、断線しないようにご注意ください。
- 製品は、内蔵カメラにより撮影された画像を直接またはネットワークを介して他の機器へ転送・記録し、閲覧できる機能を装備しています。本製品を設置する際は、設置場所や周囲の環境、映り込む画像などの適正を確認し、プライバシーの保護に配慮した設置、運用を行ってください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する他の機器およびソフトウェアに記録された情報内容は「個人情報」に該当する場合がありますので取り扱いに十分に注意してください。また、本製品および本製品とともに使用する他の機器、ソフトウェアを廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡す場合には、その取り扱いに十分に注意してください。  
※登録された情報（「顔認識の記録」「顔データベース」）を消去する場合は、41～43ページをご参照ください。
- 本製品に保存または記録された個人情報を含むデータは、本製品内蔵の記憶装置に保存されます。そのため、本製品の修理・交換などを行う際、本製品とともにデータが持ち出される場合が考えられますので、あらかじめすべての保存・記録データを削除してください。
- 本製品は、パソコンのウェブブラウザを使用して各種設定を行います。ご使用の環境やウェブブラウザのバージョンなどにより正常に設定・閲覧ができない場合は、ウェブブラウザを変更し、各種設定を行ってください。  
※ [Microsoft Edge] [Internet Explorer] などは、一部の機能が正常に設定できない場合があります。本製品の設定は、[Google Chrome] [Firefox] などをご使用ください。

# 設置する

## ▶ 設置の流れ

### ① 設置方法と設置場所の適正を確認する

- 設置方法に合わせて、設置環境、設置強度、設置スペースを確認してください。

◇ 入場ゲートなどの装置、設備に「直接」取り付ける場合 ▶17ページ

◇ 別売の「スタンド」などに取り付ける場合 ▶17ページ

### ② 本製品を外部装置、または設備に取り付ける

- 取り付け前にインターフェースコネクタを接続する場合は、始めに下記の「配線・接続する」を行ってください。

### ③ 配線・接続する

- 本製品のインターフェースコネクタを外部装置に接続します。
- 本製品のACアダプターをコンセントにさし込み、電源を入れます。

### ④ 起動・動作確認

- 本製品と外部装置が正常に動作、連動するか確認します。



設置が完了したら、「設定・運用編 (23~41ページ)」に従って本製品の設定を行ってください。

# 設置する(つづき)

## ▶「スタンド」などに取り付ける場合

### ① 設置場所の環境・強度・スペースなどを確認する

- 「設置上のお願い (15ページ)」をよくお読みいただき、設置場所の適正をご確認ください。

※ 本製品と被検者が下記の範囲になるように設置してください。

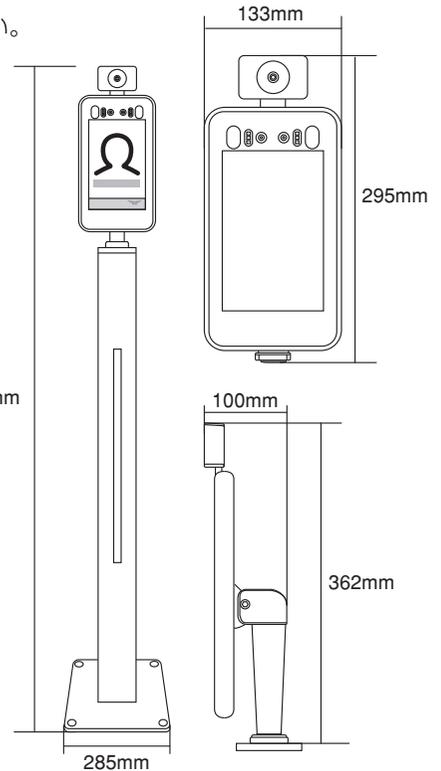
体表面温度検出距離: 0.3 ~ 0.6m

推奨される顔認識範囲: 距離: 0.5 ~ 2.0m / 高さ: 1.2 ~ 2.2m

\* 推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

### 本体寸法について

- 本体寸法を確認し、設置スペースを確保する



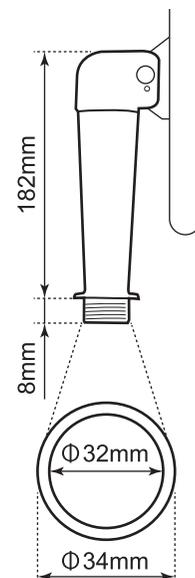
### 重量について

- 市販のスタンドなどに取り付ける場合は、10kg以上の重量に耐えられることを確認する

➡ 「仕様 (40ページ)」

### ブラケット外径・内径について

- 市販のスタンドなどに取り付ける場合は、ブラケット外径・内径と、取り付け先が適合することを確認する



<b>⚠ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設置するときは、本製品と取り付ける外部装置の電源を切ってから行ってください。感電・故障の原因となります。</li><li>● 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが・故障の原因となります。</li><li>● 不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。落下・転倒によるけがや事故の原因となります。</li><li>● 市販のスタンドなど別売のスタンド以外に取り付けるときは、取り付ける製品の注意事項をよくお読みの上、正しく取り付けてください。</li></ul>
-------------	---

<b>⚠ 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本体の角度を調節するとき・設置するときは、隙間に指などを挟み込まないようにご注意ください。</li></ul>
-------------	---

## ② 付属のスタンド、または市販のスタンドに取り付ける

- ケーブルを引っ張ったり、傷つけたりしないように注意して接続してください。
- スタンドにぐらつきや傾きがないことを必ず確認してください。

付属のポールスタンドに取り付ける場合は、次ページのの手順にしたがって取り付けてください。

※市販のスタンドなどに取り付ける場合は、取り付ける製品の取扱説明書をお読みください。

## ③ 配線・接続する「配線・接続する（21ページ）」参照

- 本製品のインターフェースコネクタを装置または設備のコネクタに接続してください。
- ※ 接続後、各ケーブルが引っ張られていたり、無理に接続されないか確認してください。

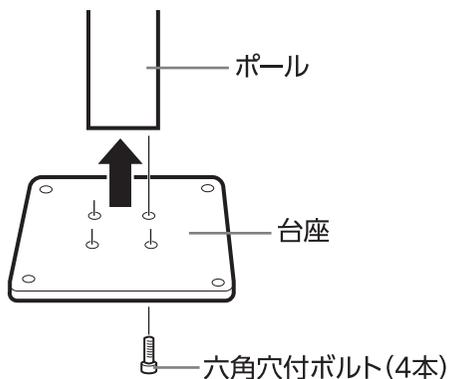
## ④ 起動・動作確認をする

- 本製品と接続した外部装置が正常に動作、連動するか確認してください。

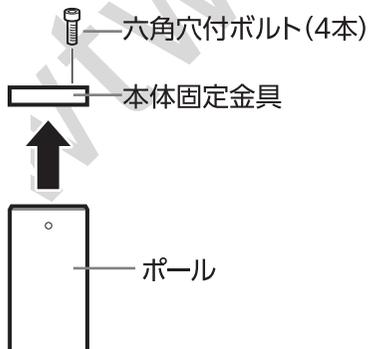
## ▶ 付属のポールスタンドに取り付ける場合

### ① 本製品をポールスタンドに取り付ける

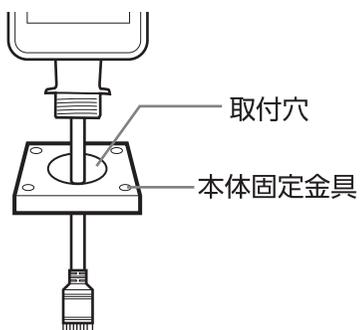
1. ポールスタンドに付属の六角レンチと六角穴付ボルト(4本)を使用し、ポールと台座を確実に固定する



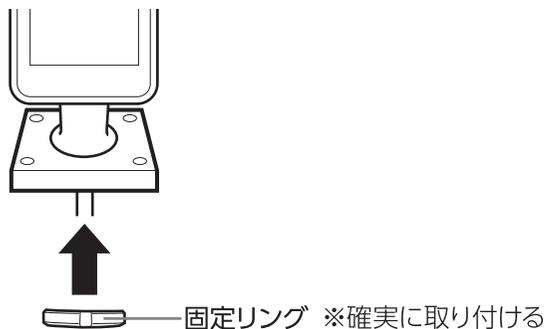
2. 本体固定金具の六角穴付ボルト(4本)をゆるめ、本体固定金具をポールから取り外す



3. 本体のケーブルを本体固定金具の取付穴に通す

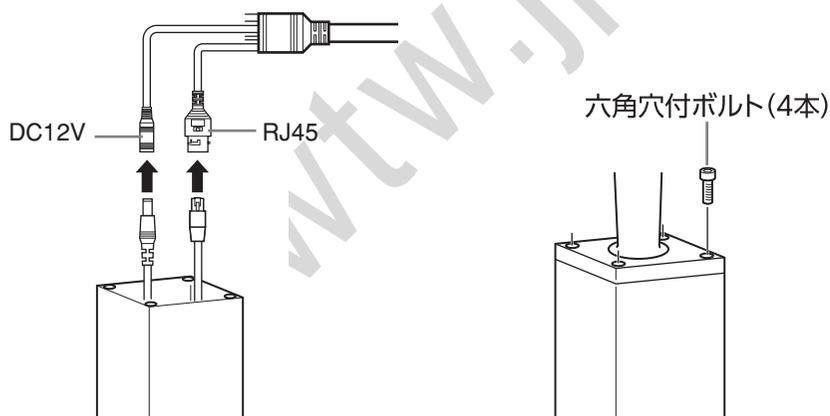


4. ブラケットを本体固定金具の取付穴に合わせ、付属の固定リングで確実に固定する



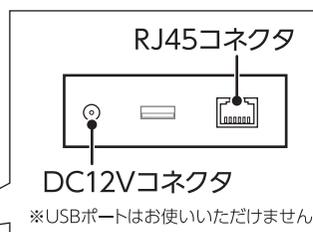
② DC12VコネクタとRJ45コネクタをポールスタンド内部のケーブルに接続し、取り外した六角穴付ボルト(4本)で、本体固定金具とポールを確実に固定する

- ケーブルを挟み込まないように注意して取り付けてください。
- ※ ポールスタンドのUSBポート(内部、外部とも)はお使いいただけません。



※DC12Vコネクタとケーブルを接続後、ACアダプターのプラグをポールスタンドのDC12Vコネクタに接続すると、LEDイルミネーションが点灯します。

アンカーボルト用穴  
(4ヶ所)



※転倒防止のため、アンカーボルト(4ヶ所)で確実にポールスタンドを固定してください。

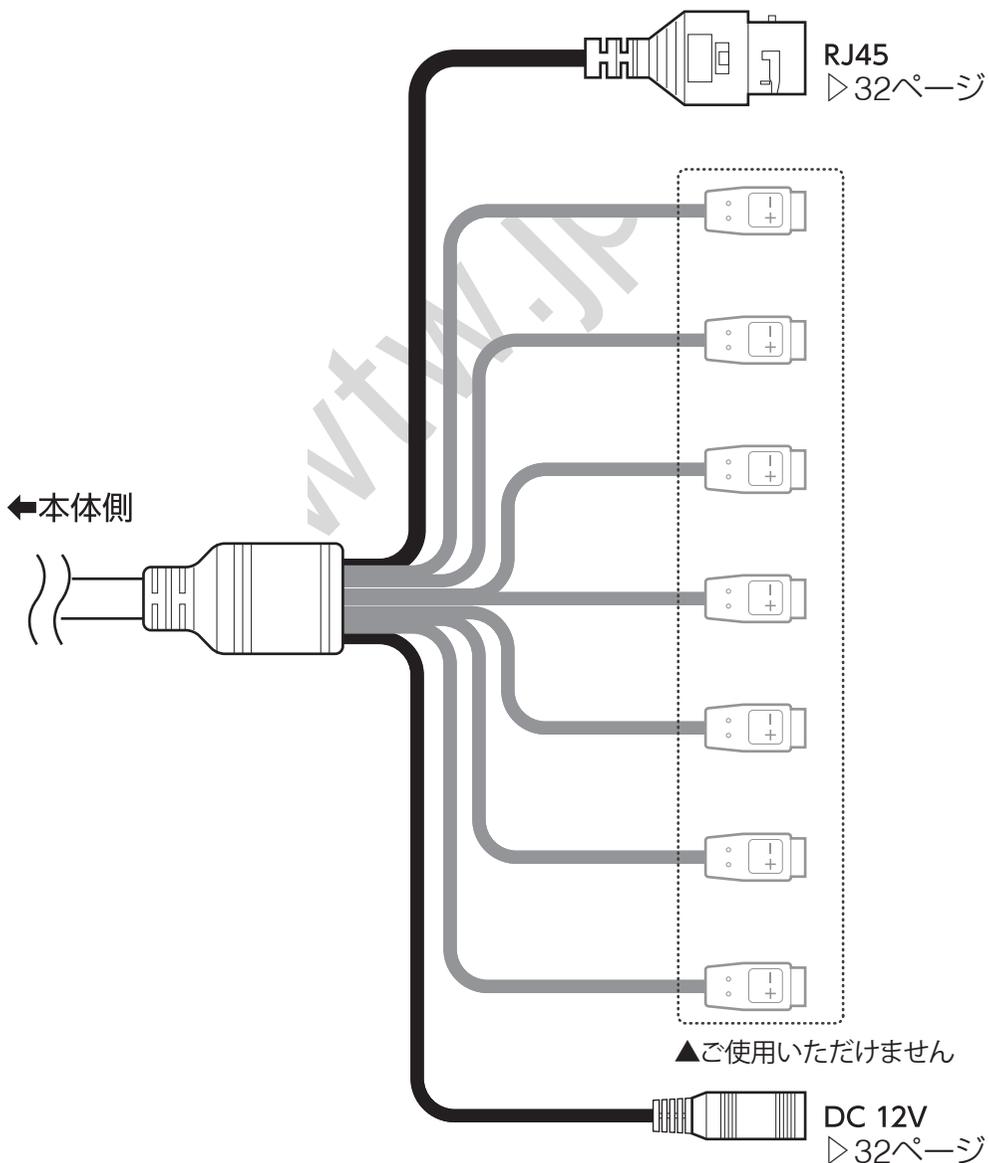
# 配線・接続する

## ▶ インターフェースコネクタの種類

### ⚠ 警告

- 接続するときは、本製品と取り付ける装置の電源を切ってから行ってください。感電・故障の原因となります。
- 電源コードやケーブルを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しないでください。(無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむなど) 電源コードやケーブルが傷付いて、火災・感電・故障の原因となります。

- 本製品と接続する外部装置の入出力信号を確認し、適切に接続を行ってください。



## 配線・接続する(つづき)

### ▶ インターフェースコネクタの機能と説明

#### ▶ RJ45 コネクタ

• LANケーブル (RJ45) を接続します。データ通信中は、LEDランプが緑点滅します。

※LANケーブルの一方はハブ、ルーター\*などに接続し、同一ネットワーク上のパソコンからLAN経由で本機の設定を行います。

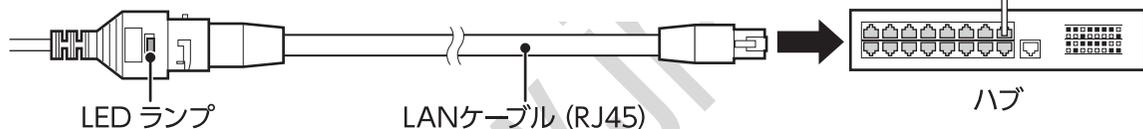
\*…ルーターへ直接接続する場合は、ルーターのLANポートへ接続してください。

※本機のIPアドレスは、初期設定で自動取得 (DHCP: オン) に設定されています。

#### 関連項目

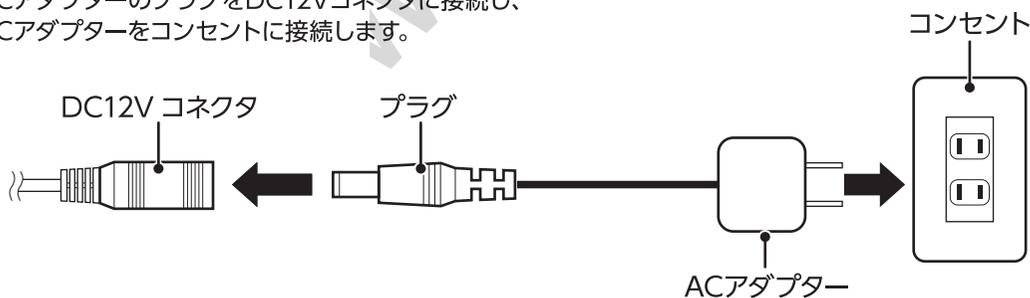
☞「設定・運用する | ネットワーク → 基本設定 → TCP/IP (36ページ)」

名称	規格・仕様
RJ45コネクタ	100BASE-TX
LANケーブル	100BASE-TX



#### ▶ DC 12V コネクタ

• ACアダプターのプラグをDC12Vコネクタに接続し、ACアダプターをコンセントに接続します。



#### 警告

- ACアダプターの1次・2次配線は施工運用時に傷つかないように配線してください。踏まれたり引っ掛けるおそれがある場合は、保護ダクトなどを使用し保護してください。
- ACアダプターは本製品に付属のもの以外を取り付けしないでください。故障・火災・感電の原因になります。

#### お知らせ

- 本製品に電源スイッチはありません。ACアダプターを接続すると電源が入ります。

# 使いかた

## ▶ 検知・認証のしかた

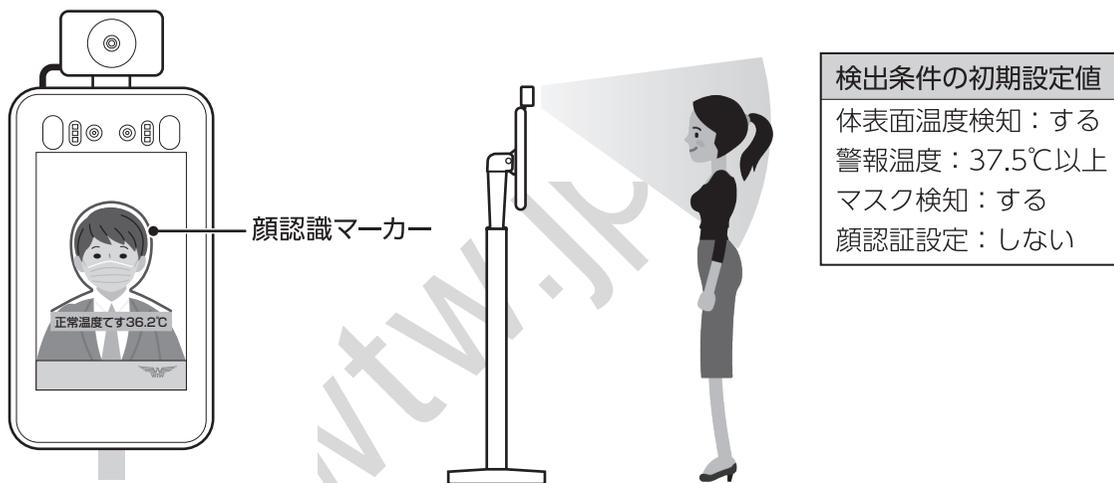
### ① 本体の前に立ち、顔が顔認証マーカの範囲に入るように移動する

● 検知が正常に終わると、検知結果をモニターに表示し、音声アナウンスが流れます。

※ 検知できない場合は、以下の項目をご確認ください。

- ・ 下を向いたり横を向いたりしている
- ・ サングラスや帽子をつけている
- ・ 顔が前髪やひげなどで覆われている
- ・ 手やハンカチなどで顔を覆っている
- ・ 本体やカメラに直射日光が当たっている

※ 検出条件が正しく設定されていない場合、正常に検知・認証できません。「設定する | インテリジェント分析 (38ページ)」を参考に設定をご確認ください。



体表面温度検出距離：0.3 ~ 0.6m  
 推奨される顔認識範囲：距離：0.5 ~ 2.0m / 高さ：1.2 ~ 2.2m  
 \* 推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

<表示／音声アナウンス例>



🔊 基準値を超えた温度です。  
認証成功です。



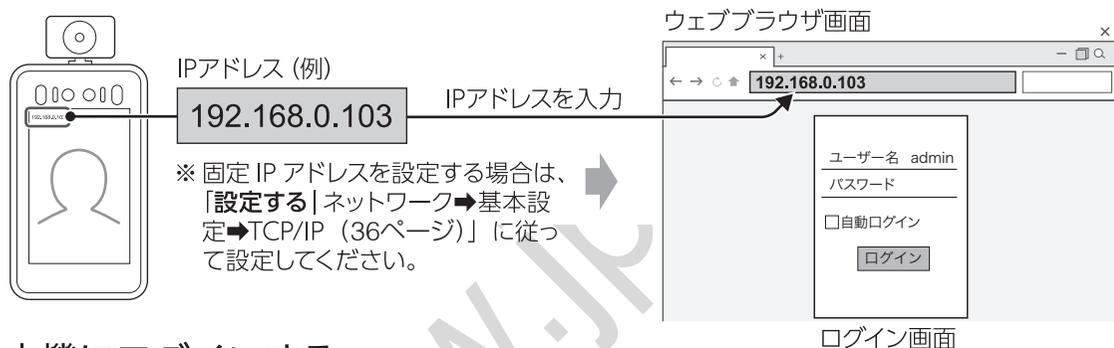
🔊 正常温度です。  
マスクを着用してください。

# 設定する

▶ **設定の流れ** ※各種設定をするときは、管理者（管理者グループ）でログインしてください。

## ① パソコンのウェブブラウザにIPアドレスを入力する

- パソコンのウェブブラウザに本機のIPアドレスを入力してください。本機のログイン画面が表示されます。
- ※ 本機のIPアドレスは、本体のモニター画面（左上）に起動後5分間表示されます。5分経過し、表示が消えた場合は本機を再起動（電源切/入）してください。
- ※ ログイン画面が表示されない場合は、正しくネットワークに接続されているかご確認ください。
- ※ 本製品の設定は、「Google Chrome」「Firefox」などをご使用ください。「Microsoft Edge」「Internet Explorer」などは、一部の機能が正常に設定できない場合があります。



## ② 本機にログインする

- ユーザー名/パスワードを入力し、「ログイン」を押してください。システム管理画面が表示されます。
- ※ 初期設定では、ユーザー名は「admin」、パスワードは未入力設定されています。
- ※ 次回より自動でログインしたいときは、「自動ログイン」にチェックします。



## ③ 言語設定をする（必要な場合のみ）

- 「設定する | システムの管理 → システムの設定 → 全般情報 → 言語（26ページ）」に従って表示言語を変更してください。
- ※ 初期設定では、「日本語」が設定されています。

## ④ 本機の設定をする

- 本機の設定を行ってください。設定内容は、25~43ページをご参照ください。

## ⑤ 本機・外部装置の動作確認

- 本機や外部装置の動作に関する設定を変更した場合は、必ず動作確認を行ってください。

## 設定する(つづき)

## ▶ 設定項目一覧

パソコンのウェブブラウザを使用して本製品の設定を行います。設定できる項目は下記をご参照ください。

設定項目	主な機能・概要	備考	ページ
<b>システムの管理</b>	言語設定、時間設定、ユーザー設定などの基本的な設定を行います。		26
システムの設定	システム情報の表示・設定/日付と時刻を設定します。		26
全般情報	デバイス名、言語設定、ファームウェアバージョンの確認、設定します。		26
日付と時刻	現在時刻を設定します。		27
メンテナンス	ファームウェアのアップデート/本機を再起動します。		27
セキュリティ	本機にアクセスできるIPアドレスを制限します。		28
ユーザー	本機にログインできるユーザーを登録します。		29
ログ管理	システムログを表示します。		30
<b>映像と音声</b>	映像と音声に関する設定をします		30
映像ストリーム	モニターの映像に関する設定を行います。		30
音声ストリーム	再生される音声に関する設定を行います。		30
<b>ディスプレイ</b>	モニターの表示に関する設定を行います。		31
画像の設定	画像の調整/露出/WDR/昼間および夜間/詳細の設定をします。		31
画像の調整	明るさなどモニターの画質を調整します。		31
露出	モニター表示(露出)を調節します。		32
WDR	ワイドダイナミックレンジを設定します。		32
昼間および夜間	昼間と夜間の表示モードを設定します。		32
詳細	特殊なモニター表示の設定をします		32
OSD	モニターに表示する文字やフォントの設定をします。		33
基本設定	モニターに表示されるフォントの設定をします。		33
詳細設定	モニターに文字を表示するときに設定します。		33
プライバシーマスクの設定	モニター表示の一部を非表示にします。		34
<b>警報</b>	監視モード機能に関する設定を行います。		34
動体検知	映像の動き・変化を監視する動体検知モードの設定をします。		34
基本設定	監視エリアの設定をします。		35
警報のリンク	監視中の動作を設定します。		35
アーミングスケジュール	監視スケジュールを設定します。		35
警報入力	監視中の入力信号に関する設定をします。		35
警報のリンク	監視中、入力信号を受信したときの動作を設定します。		35
アーミングスケジュール	入力信号の受信スケジュールを設定します。		35
<b>ネットワーク</b>	ネットワークに関する設定を行います。		36
基本設定	TCP/IP/ポート管理の設定をします。		36
TCP/IP	本機のIPアドレスを設定します。		36
ポート管理	ネットワークの通信ポートの設定をします。		36
詳細設定	警報メールを送信/VMSの設定をします。		37
警報メールを送信	自動送信メールの設定をします。		37
VMS	VMS機能を使用するときに設定します。		37
ストレージ	内蔵のストレージをフォーマットします。		37
<b>インテリジェント分析</b>	検出条件の設定、顔登録、顔認識情報の表示などを行います。		38
顔検知	下記の8項目を設定します。		38
基本設定	顔・体温・マスクの検出条件の設定を行います。		38
設定を保存	専用サーバーとの接続設定をします。		40
アーミングスケジュール	認証制御のスケジュールを設定します。		41
顔画像をインポート	顔画像を本機に登録します。		41
顔データベース	本機に登録された顔画像のデータベースを表示します。		42
顔認識の記録	本機で検出された検出者情報を表示します。		43
Wiegand	ウィーガンドプロトコルの設定をします。		43

## ▶ システムの管理



### 概要

言語設定、時間設定、ユーザー設定などの基本的な設定を行います。

システムの設定 | システム情報の表示・設定 / 日付と時刻を設定します。 ※【 】内は初期値

### 全般情報

● **デバイス名、言語設定などの設定を行います。** 設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

#### ■ デバイス名

本機のデバイス名を設定します。

#### ■ 製品情報

本機の製品番号を表示します。※変更できません。

#### ■ 言語

表示、音声の言語を設定します。

設定値：【日本語】 / 他10カ国言語

#### ■ ファームウェアのバージョン

本機のファームウェアバージョンを表示します。※変更できません。

#### ■ S/N

本機のシリアルナンバーを表示します。※変更できません。

#### ■ チャンネル

本機のチャンネル番号を表示します。※変更できません。

#### ■ CloudSEE ID

本機のCloudSEE IDを表示します。※変更できません。

#### ■ CloudSEEのステータス

本機のCloudSEEのステータスを表示します。※変更できません。

#### ■ 警報入力

本機のAlarm Inコネクタ数を表示します。※変更できません。

設置※ご利用いただけません

#### ■ 警報出力

本機のAlarm Outコネクタ数を表示します。※変更できません。

設置※ご利用いただけません

#### ■ アルゴリズムのバージョン

本機のアルゴリズムバージョンを表示します。※変更できません。

#### ■ モデルのバージョン

本機のモデルバージョンを表示します。※変更できません。

#### ■ ISPのバージョン

本機のISPバージョンを表示します。※変更できません。

#### ■ ディスプレイスリープ時間

本機のモニター画面がスリープ状態に移行するまでの時間を設定します。

設定値：【常にオン】 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 25分 / 30分

#### ■ Netcomプライベートプロトコル

Netcomプライベートプロトコルを設定します。

設定値：【はい】 / いいえ

## 設定する(つづき)

### 日付と時刻

●本機の日時設定(現在時刻設定)を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

#### ■インターネット時刻

日時をNTPサーバーから自動で取得する場合にチェックします。(【有効】)

#### ■タイムゾーン

時間帯(標準時)を設定します。

設定値:協定世界時(【UTC+09:00】)

#### ■サーバー

NTPサーバーを設定します。※手動チェック時は変更できません。

設定値:NTPサーバーアドレス(【ntp.fudan.edu.cn】)

#### ■同期インターバル(時)

NTPサーバーから日時を自動取得する間隔を設定します。

設定値:1~200時間(【24】)

#### ■手動

日時を手動で設定する場合にチェックします。(【無効】)

設定値:「時刻を設定」のカレンダーアイコンをクリックして選択

### 日付と時刻画面

日付と時刻	
タイムゾーン:	UTC+08:00
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット時刻	サーバー: ntp.fudan.edu.cn
同期インターバル(時):	24 (1-200)
<input type="checkbox"/> 手動	時刻を設定: 2021-01-06 12:25:13 

カレンダーアイコン

メンテナンス | 本機の再起動スケジュールなどを設定します。※【 】内は初期値

#### ■更新

日時ファームウェアの更新をおこないます。

#### ■温度測定モジュールのアップグレード

温度測定モジュールのアップグレードをおこないます。

### ■自動再起動

本機を自動で再起動する曜日と時刻を設定します。

設定値(曜日)：【禁止】/毎日/毎週日曜日/毎週月曜日/毎週火曜日/毎週水曜日/毎週木曜日/毎週金曜日/毎週土曜日

設定値(時刻)：「00:00~23:00」まで1時間刻み(【01:00】)

※設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正常に処理されました」と表示されます。

### ■デバイスを再起動

本機をすぐに再起動します。

### ■工場出荷時の状態に戻す

本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。実行すると自動で再起動します。

※顔データベースや顔認識の記録データ、ログデータは消去されません。

再起動スケジューラー画面

再起動スケジューラー	
自動再起動：	禁止 <input type="button" value="v"/> 01:00 <input type="button" value="v"/>
<input type="button" value="デバイスを再起動"/>	<input type="button" value="工場出荷時の状態に戻す"/>
<input type="button" value="保存"/>	

## セキュリティ | 本機にアクセスできる端末 (IPアドレス) を制限します。 ※【 】内は初期値

●設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正常に処理されました」と表示されます。表示を更新するときは「更新」を押してください。

### ■【制限なし】

制限しない場合にチェックします。

### ■制限

特定のIPアドレスを制限する場合はチェックし、IPアドレスを入力→「追加」を押します。IPアドレス制限リストに制限するIPアドレスが追加されます。

追加されたIPアドレスを削除する場合は、IPアドレス制限リストから目的のIPアドレスをチェック→「削除」を押します。IPアドレス制限リストからIPアドレスが削除されます。

設定値：制限するIPアドレス

### ■許可

特定のIPアドレスを許可する場合はチェックし、IPアドレスを入力→「追加」を押します。IPアドレス制限リストに許可するIPアドレスが追加されます。

追加されたIPアドレスを削除する場合は、IPアドレス制限リストから目的のIPアドレスをチェック→「削除」を押します。IPアドレス制限リストからIPアドレスが削除されます。

設定値：許可するIPアドレスを入力

### ■IPアドレス範囲

IPアドレスの範囲を入力する場合にチェックします。※チェックしない場合、終了IPアドレスは入力できません。

設定値：開始IPアドレス～終了IPアドレス

セキュリティ画面

IPアドレスの制限			
<input checked="" type="radio"/> 制限なし	<input type="radio"/> 制限	<input type="radio"/> 許可	
<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス範囲	<input type="text"/>	--	<input type="text"/>
<input type="button" value="追加"/>		<input type="button" value="削除"/>	
IPアドレスの制限リスト			
<input type="checkbox"/>	開始IPアドレス	終了IPアドレス	ステータス
<input type="button" value="更新"/>		<input type="button" value="保存"/>	

## 設定する(つづき)

ユーザー | 本機にログインできるユーザーを登録・設定します。

- 入力後「OK」を押すと「設定が保存されました」と表示され、ユーザーがユーザーリストに追加されます。追加したユーザーを削除する場合は、ユーザーリストから目的のユーザーをチェック→「削除」を押してください。ユーザーリストからユーザーが削除されます。表示を更新するときは「更新」を押してください。

### ■アカウント

追加するユーザー名(アカウント)を入力します。

設定値: 任意の半角英数字

※工場出荷時は「admin(管理者グループ)」が設定されています。adminユーザーは削除できません。

### ■グループ

ユーザーが所属するグループを設定します。

設定値: 標準ユーザー … 一般権限を持つユーザーグループ

管理者 … 管理者権限を持つユーザーグループ

ゲスト … ゲスト権限を持つユーザーグループ

### ■説明

ユーザーの説明を入力します。

設定値: 任意の文字

### ■パスワード

パスワードを入力します。

設定値: 任意の半角英数字

※工場出荷時の状態では設定されていません。

### ■パスワードを確認

確認のため、パスワードを再入力します。

設定値: 任意の半角英数字

ユーザー画面

ユーザーを追加/編集	
<input checked="" type="checkbox"/> アカウント:	<input type="text"/>
グループ:	<input type="text" value="▼"/>
説明:	<input type="text"/>
パスワード:	<input type="text"/>
パスワードを確認:	<input type="text"/>
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="OK"/>	

ユーザーリスト			
選択	ユーザー	グループ	説明
<input type="checkbox"/>	admin	管理者	

## ログ管理 | 本機のシステムログを表示します。 ※【 】内は初期値

- 表示を更新するときは、「更新」を押してください。ソート基準で表示方法を選択できます。  
設定値：【ページ番号】 … ページ単位で表示  
日付… 日付ごとに表示

## ▶ 映像と音声



概要

映像と音声に関する設定を行います。

## 映像ストリーム | モニターの映像に関する設定を行います。 ※【 】内は初期値

- 設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

※映像ストリームには「メインストリーム」と「サブストリーム」の2種類があります。それぞれ設定を行ってください。

### ■コーデック

ビデオコーデックを設定します。

設定値：H264 / 【H265】

### ■分解能

表示解像度を設定します。

設定値：【1920x1080】 / 1280x960 / 1280x720 / 960x540 / 768x432 / 720x576 /  
720x480 / 704x576 / 640x480 / 352x288 / 368x208 ※サブストリーム【704x576】

### ■FPS

フレームレートを設定します。

設定値：5～30 (【25】)

### ■ビットレート制御

ビットレートの種類を設定します。

設定値：CBR / 【VBR】

### ■品質

画質を設定します。

設定値：最高 / 良好 / 【中】 / 低 / 最低

### ■ビットレート

ビットレート速度を設定します。

設定値：ビットレート速度 (単位：kbps) (【2048】 ※サブストリーム【682】)

### ■スマートコーデック

スマートコーデックの動作を設定します。

設定値：有効 / 【シャットダウン】 / 自動

映像ストリーム画面

メインストリーム			
コーデック：	H.265	分解能：	1920*1080
FPS：	25	ビットレート制御：	VBR
品質：	中	ビットレート：	2048 Kbps
スマートコーデック：	シャットダウン		
サブストリーム			
コーデック：	H.265	分解能：	704*576
FPS：	25	ビットレート制御：	VBR
品質：	中	ビットレート：	682 Kbps

## 音声ストリーム | 再生される音声に関する設定を行います。 ※【 】内は初期値

- 設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

### ■音声ストリームを有効にする

音声を出力する場合にチェックします。チェックを外すと音声が出力されません。(【有効】)

## 設定する(つづき)

### ■ サンプルレート

サンプルレートを設定します。  
※音声ストリームを有効にするにチェック時のみ設定できます。  
設定値：【8K】

### ■ ビット幅

ビット幅を設定します。  
※音声ストリームを有効にするにチェック時のみ設定できます。  
設定値：【16bit】

### ■ コーデック

音声コーデックを設定します。  
※音声ストリームを有効にするにチェック時のみ設定できます。  
設定値：【G711U】／G711A

### ■ 音声入力の調整

インターフェースコネクタ (MIC IN) からの音声入力レベルを設定します。  
(ご利用いただけません)

### ■ 出力デバイス

音声の出力先を設定します。  
設定値：【内蔵スピーカー】 … 本体内蔵のスピーカー  
(外付けスピーカーはご利用いただけません)

### ■ 値

インターフェースコネクタ (AUDIO OUT) に出力する音声出力レベルを設定します。  
(ご利用いただけません)

音声ストリーム画面

音声

音声ストリームを有効にする

サンプルレート：

ビット幅：

コーデック：

音声入力の調整：  50

出力デバイス：  内蔵スピーカー  外付けスピーカー

値：  100

## ▶ ディスプレイ



### 概要

本体のモニター表示に関する設定を行います。

画像の設定 | 画像の調整 / 露出 / WDR / 昼間および夜間 / 詳細の設定をします。 ※【 】内は初期値

### 画像の調整

● **モニター表示画質を調整します。** 設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

### ■ 明るさ

モニター画面の明るさを設定します。  
設定値：0～255 (【128】)

### ■ コントラスト

モニター画面のコントラストを設定します。  
設定値：0～255 (【128】)

### ■ 飽和度

モニター画面の飽和度を設定します。  
設定値：0～255 (【128】)

### ■ シャープネス

モニター画面のシャープネスを設定します。  
設定値：0～255 (【128】)

### ■ 画像のスタイル

モニター画面の色合いを設定します。  
設定値：【標準】 / 鮮明 / ソフトウェア

画像の調整画面

画像の調整

明るさ：  128

コントラスト：  128

飽和度：  128

シャープネス：  128

ミラーリング  反転  スマート赤外線カット

画像のスタイル：

## 露出

●モニター表示 (露出) を調節します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

### ■露出方針

画像の露出を補正します。

設定値:【自動】/HLC/BLC

### ■アンチフリッカー

ちらつき除去

設定値:【シャットダウン】/50Hz/60Hz

### ■最大露出時間

最大露出時間を設定します。

設定値: 1/3~1/100000 (【1/3】)

### ■最小露出時間

最小露出時間を設定します。

設定値: 1/3~1/100000 (【1/100000】)

### 露出画面

露出	
露出方針:	自動 ▼
アンチフリッカー:	シャットダウン ▼
モード:	自動 ▼
最大露出時間:	1/3 ▼
最小露出時間:	1/1000000 ▼

デフォルト 保存

## WDR

●ワイドダイナミックレンジを設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

設定値: DWDR / 【シャットダウン】

## 昼間および夜間

●モニター表示を昼と夜で切り替えて表示します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

### ■モードを切り替える

表示モードを設定します。色のスケジューリングを選択すると、カラー表示にする時刻を設定できます。

設定値:【自動】/カラー/白黒/色のスケジューリング

開始時刻~終了時刻 ※色のスケジューリングを選択時に有効

### ■感度

感度を設定します。

設定値: 1~10 (【4】)

## 詳細

●特殊な表示設定をします。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

### ■低フレームナイトビジョン

低フレーム暗視モードに切り替える場合はチェックします。(【有効】)

### ■デフォッグ

霧や雨などによる影響 (低コントラスト映像) を補正します。(【無効】)

# 設定する(つづき)

OSD | モニターに表示する文字やフォントの設定をします。 ※【 】内は初期値

## 基本設定

●モニターに表示される時刻などのフォント設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

### ■大きいフォント

表示する文字サイズを大きくする場合はチェックします。  
 (【有効】)

### ■名前の位置

登録者名を表示する位置を設定します。  
 設定値: 上端 / 【下端】 / 右上 / 右下 / 隠す

### ■時刻の位置

時刻を表示する位置を設定します。  
 設定値: 上端 / 下端 / 【右上】 / 右下 / 隠す

### ■時間形式

時刻の表示のしかたを設定します。(Y:年/M:月/D:日)  
 設定値: YYYY-MM-DD / 【MM/DD/YYYY】 / DD/MM/YYYY  
 ※この機能はご利用いただけません

基本設定画面

全般情報	
<input checked="" type="checkbox"/>	大きいフォント
名前の位置:	▼ 下端 ▼
時刻の位置:	▼ 右上 ▼
時間形式:	▼ MM/DD/YYYY ▼

## 詳細設定

●モニターに任意の文字を表示する場合に設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。  
 設定値: 最大行数=8行、最大文字数=48文字までの任意の文字

### ■表示位置設定画面

任意の文字を表示する位置を設定します。  
 設定値: 赤枠をドラッグ (【左上隅】)

### ■フォントサイズ

文字サイズを設定します。  
 設定値: 1~55 (【32】)

### ■テキストの整列

行の揃え位置を設定します。設定値: 【左揃え】 / 右揃え

詳細設定画面

文字入力エリア

詳細設定	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     01/05/2021 04:20:52                      HD IPC Weak password                 </div> <p>赤枠</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
<small>注: 最大8行まで設定できます。各行は最大48文字まで。</small>	
フォントサイズ: <input type="text" value="32"/> (1-55)	テキストの整列: <input type="text" value="左揃え"/> ▼
<input type="button" value="デフォルト"/>	<input type="button" value="保存"/>

## プライバシーマスクの設定 | モニター表示の一部を非表示にします。 ※【 】内は初期値

- モニターに表示される画像の任意のエリアを最大 8 エリアまでマスク処理（非表示）にします。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。表示を更新するときは「更新」を押してください。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

- プライバシーマスクを有効にする  
マスク処理を設定する場合はチェックします。（【無効】）

- マスク処理設定画面  
マスクをするエリアを、マウスをドラッグして赤枠で指定します。  
設定値：ドラッグで指定した赤枠のエリア（最大 8 エリアまで）※右クリックで赤枠消去（【マスク処理無し】）

プライバシーマスクの設定画面



## ▶ 警報



### 概要

監視モード機能（動体検知機能）に関する設定を行います。

## 動体検知 | 撮影された映像の動きや変化を監視する動体検知モードの設定をします。 ※【 】内は初期値

- 動体検知を有効にする  
動体検知モードに移行する場合はチェックします。（【無効】）

### 基本設定

- 動体検知エリアの設定をします。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。表示を更新するときは「更新」を押してください。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

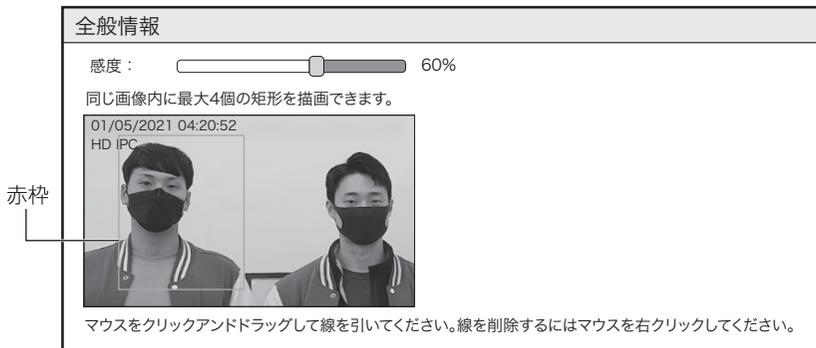
- 感度  
動体検知感度を設定します。  
設定値：1%~100%（【60%】）

## 設定する(つづき)

### ■動体検知エリア画面

動体検知エリアを、マウスをドラッグして赤枠で指定します。(【動体検知エリア指定無し】)  
設定値:ドラッグで指定した赤枠のエリア(最大4エリアまで) ※右クリックで赤枠消去

動体検知画面



### 警報のリンク

- 動体検知モード中の本機の動作を設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

### ■クライアントに送信

チェック時、クライアントへ通知します。(【有効】)

### ■警報メールを送信

チェック時、クライアントへ警報メールを送信します。(【有効】)

### ■記録を開始する

チェック時、録画を開始します。(【有効】)

### ■警報期間

録画する時間を設定します。(【10秒】)  
設定値:3秒~100秒

### アーミングスケジュール

- 動体検知モードに自動で移行するスケジュール(日時)を設定します。「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

### ■終日

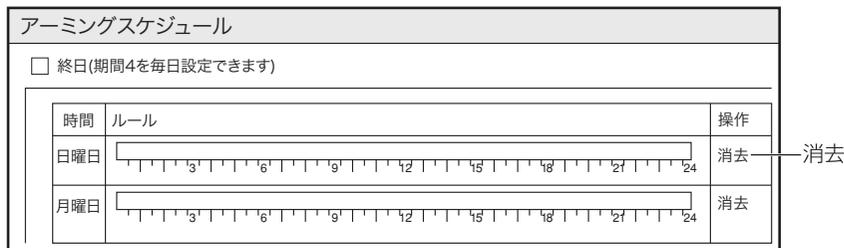
常に動体検知モードで使用する場合はチェックします。  
チェックを外すと、1週間の日時でスケジュール管理できます。

設定値:(曜日)日曜日~土曜日(【終日】)

(時刻)00:00~23:59 ※時間指定は1日4期間まで

※設定したスケジュールを取り消す場合は、消去を押してください。

アーミングスケジュール画面



## 設定する(つづき)

## ▶ ネットワーク



概要

ネットワークに関する設定を行います。

基本設定 | TCP/IP / ポート管理の設定をします。 ※【 】内は初期値

## TCP/IP

●本機のIPアドレスに関する設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

## ■DHCP (【有効】)

IPアドレスを自動割り当て機能を有効にする場合はチェックします。

IPアドレスを手動で設定する場合はチェックを外し、下記の「IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/DNS」を設定してください。

## ■IPアドレス

本機のIPアドレスを入力します。

※DHCPが有効になっている場合入力できません。

## ■サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。

※DHCPが有効になっている場合入力できません。

## ■デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを入力します。

※DHCPが有効になっている場合入力できません。

## ■DNS

DNSを入力します。

※DHCPが有効になっている場合入力できません。

## ■IPアドレスの自己適応 (【無効】)

自己割り当てIPアドレスを有効にする場合はチェックします。

## ■自動オンライン/オフライン (【無効】)

IPアドレスを自動でオンライン/オフラインに

切り替える場合はチェックします。

## ■ロックするIPアドレス (【無効】)

IPアドレスをロックする場合はチェックします。

## ■MAC

本機のMACアドレスを表示します。

## TCP/IP画面

TCP/IP	
<input checked="" type="checkbox"/> DHCP	<input type="checkbox"/> IPアドレスの自己適応
<input type="checkbox"/> 自動オンライン/オフライン	<input type="checkbox"/> ロックするIPアドレス
IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.100"/>
サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
DNS:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
MAC:	<input type="text" value="e0:62:90:07:2c:ca"/>

## ポート管理

●ネットワーク通信をする際のポートの設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

## ■CloudSEEオンラインポート

CloudSEEオンラインポートを設定します。(【0】)

## ■CloudSEE転送ポート

CloudSEE転送ポートを設定します。(【18320】)

## ■HTTPポート

HTTPポートを設定します。(【80】)

## ■RTSPポート

RTSPポートを設定します。(【8554】)

### 警報メールを送信

- 本機がEメールを自動で送信するための設定を行います。設定変更後は、「同意する プライバシーポリシー」にチェックし、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。  
※「同意する プライバシーポリシー」にチェックが入っていない場合保存できません。
- 設定後、テストメールを送信する場合は、「テスト」を押してください。

#### ■メール送信元

送信者（本機）のEメールアドレスを入力してください。（【ipcmal@163.com】）

#### ■SMTPサーバー

SMTPサーバーを入力してください。（【smtp.163.com】）

#### ■ユーザー名

ユーザー名（メール送信アカウント）を入力してください。（【ipcmal】）

#### ■パスワード

パスワード（メール送信パスワード）を入力してください。

#### ■SMTP ポート

SMTP ポート番号を入力してください。（【25】）

#### ■暗号化

暗号化送信の種類を設定してください。

設定値：【None】／SSL／TLS

#### ■受信者1～4

メール受信者（送信先）のEメールアドレスを入力してください。

設定値：Eメールアドレス（最大4件）

### VMS

- VMS機能を使用するための設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。

#### ■VMSを有効にする（【無効】）

VMS機能を使用する場合はチェックします。

#### ■オンラインサーバー（【無効】）

オンラインサーバーアドレスとサーバーポートを入力してください。

設定値：サーバーアドレス／ポート番号

#### ■ビジネスサーバー（【無効】）

ビジネスサーバーアドレスとサーバーポートを入力してください。

設定値：サーバーアドレス／ポート番号

## ▶ ストレージ



### 概要

本機内蔵のストレージをフォーマットします。ストレージをフォーマットするとすべての保存データ、ログデータが消去されます。

### 管理

- フォーマットするストレージにチェックし、「フォーマット」を押してください。表示を更新するときは「リストを更新」を押してください。

## 設定する(つづき)

## ▶ インテリジェント分析



概要

検出条件の設定、顔登録、顔認識情報の表示などを行います。

## 顔検知 ※【 】内は初期値

## 基本設定

- 検出条件の設定、外部ソフトウェアへのアップロード設定、顔登録などを行います。**設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。
- 顔をマーク（【有効】）**  
顔を識別する場合はチェックします。
- VMSにアップロード（【無効】）**  
検出記録を外部ソフトウェア「CMS-WTW123」にアップロードする場合はチェックします。
- 識別データを保存（【有効】）**  
検出者の保存条件を設定する場合はチェックしてください。  
設定値：なし  
高温検知  
【すべて】
- 検知モード**  
異常と判断（警報発生）する場合の検出条件を設定します。  
設定値：顔認識（【無効】）  
ライブ検知（【無効】）※顔認識条件が有効な場合のみ  
温度検知（【有効】）  
マスク検知（【無効】）
- 保存期間**  
検出情報を保存する期間を設定します。  
設定値：1～30日（【未入力】）
- 温度単位**  
温度単位を設定します。※検出条件の体表面温度測定が有効な場合のみ  
設定値：【摂氏（℃）】／華氏（F）
- 高温しきい値**  
異常温度として検知する最低温度を設定します。※検出条件の体表面温度測定が有効な場合のみ  
設定値：任意の温度（0～100℃、0.1℃または0.1F刻み）（【37.5℃】）
- 低温しきい値**  
寒冷地など、極端に気温が低い環境で使用すると体温を低く検出する場合があります。その場合は誤検知防止のため、異常温度として検知する最低温度を設定できます。異常温度を検出すると「低温です、再測定してください」と表示と音声でお知らせします。  
※通常の環境では設定を変更しないでください。  
設定値：任意の温度（0～100℃、0.1℃または0.1F刻み）（【30℃】）
- 温度補正**  
温度補正を設定します。※検出条件の体表面温度測定が有効な場合のみ  
→測定した温度が継続的に偏りがある場合、補正值（測定した温度と実際の温度の差）を入力し、測定結果に反映させます。  
設定値：-1.5℃～1.5℃の範囲／29.3°F～33.3°Fの範囲（0.1℃または0.1°F刻み）（【0℃】）
- 顔画像の品質**  
検出記録に表示される検証結果の顔画像品質を変更できます。  
設定値：1～99（【80】）
- 顔画像の最小ピクセル**  
検出記録に表示される検証結果の顔画像の最小表示ピクセル数を変更できます。  
設定値：10～200（【40】）

## ■ 感度

顔認識感度を変更します。 ※推奨値は「2」

→感度を低く調整すると、情報量の少ない顔画像（横顔など）の顔は認識されません。

設定値：0～9（【4】）

## ■ 比率をキャプチャー

撮影する画面の割合を設定します。

→検出記録として、顔だけ撮るか、全画面を撮るかを設定できます。

設定値：0%～150%（【10%】）

## ■ 認識しきい値

顔認証の際、顔データベースと比較したときの類似性（一致率）の高さを設定します。 ※推奨値は75

→値が高すぎると、高い類似性が求められ、同人物でも少しの差異で認識できなくなります。

値が低すぎると、類似性の高い顔（例えば双子など）が正しく認識されない可能性があります。

設定値：0～100（【75】）

### 顔検知画面

顔検知	
<input checked="" type="checkbox"/> 顔検知	
<input checked="" type="checkbox"/> 顔をマーク	
<input type="checkbox"/> VMSにアップロード	
<input checked="" type="checkbox"/> 識別データを保存	すべて ▼
検出モード： <input type="checkbox"/> 顔認識 <input type="checkbox"/> ライブ検知 <input checked="" type="checkbox"/> 温度検知 <input type="checkbox"/> マスク検知	
保存期間：	すべて ▼
温度単位：	摂氏 ▼
高温しきい値：	37.5 ▲▼ °C
低温しきい値：	30.5 ▲▼ °C
温度補正：	0.0 ▲▼ °C
顔画像の品質：	<input type="range"/> 80
顔画像の最小ピクセル：	<input type="range"/> 40
感度：	<input type="range"/> 4
比率をキャプチャー：	<input type="range"/> 10%
認識しきい値：	<input type="range"/> 75
<input type="button" value="保存"/>	

検出条件

異常温度の最低値

## 設定する(つづき)

### 設定を保存

●専用サーバーへアップロードするための設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。

#### ■プロトコルをアップロード

アップロードプロトコルを設定します。

設定値: Deepcam/Sunywo/【Aiwei】/Jovision/Sunywo2

#### ■顔画像アップロード先のHTTPアドレスを取得(【無効】)

顔画像アップロード用のHTTPサーバーを登録する場合はチェックし、下記の項目を入力してください。

設定値: <HTTPサーバー> HTTPサーバーアドレスを入力

<HTTPポート> HTTPポートを入力

<アップロードパス> アップロードパス(階層)を入力

<アカウント> アカウントを入力

<パスワード> アカウントを入力

#### ■ハートビート(【無効】)

ハートビートサーバー(監視サーバー)を登録する場合はチェックし、下記の項目を入力してください。

設定値: <ハートビートサーバー> ハートビートサーバーアドレスを入力

<ハートビートポート> ハートビートポートを入力

<ハートビートパス> ハートビートパス(階層)を入力

<ハートビートインターバル> 監視間隔を入力

#### ■QRコードレポートアドレス

QRコードレポートアドレスを設定します。

設定値: アドレスを入力(【未入力】)

## アーミングスケジュール

●警報モードに自動で移行するスケジュール(日時)を設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。

### ■終日(【無効】)

常に警報モードで使用する場合はチェックします。  
チェックを外すと、1週間の日時でスケジュール管理できます。

設定値：(曜日) 日曜日～土曜日

(時刻) 00:00～23:59 ※時間指定は1日4期間まで

※設定したスケジュールを取り消す場合は、消去を押してください。

アーミングスケジュール画面

月曜日に2期間警報モードに移行する場合

アーミングスケジュール

終日(期間4を毎日設定できます)

時間	ルール	操作
日曜日		消去
月曜日		消去
火曜日		消去
水曜日		消去
木曜日		消去
金曜日		消去
土曜日		消去

## 画像をインポート

●本機に顔画像をインポートして顔データベースに登録します。

### ■インポートできる画像について

画像形式	JPEG形式
画像サイズ	512KB未満
画像解像度	最小解像度：30×30／最大解像度：960×960
ファイル名	登録者名_ピクチャー番号_性別.jpg

↑ ↑ 「男性」または「女性」  
 ↑ ピクチャー番号(ID)は半角数字  
 ※ファイル名はアップロード後でも変更できません。

## ▶ 顔画像のアップロードのしかた

### ①「画像をアップロード」を押し、アップロードする画像を選択する

- リストにアップロードする画像が表示されます。
- ※ 複数の画像を選択すると、一度にアップロードできます。
- ※ リストから画像を削除したい場合は、「消去」を押してください。

## 設定する(つづき)

### ②「ホワイトリストをアップロード」を押す

- 画像のアップロードが開始されます。
  - 画像リストのStatusに「**正しく処理されました**」と表示されたらアップロード完了です。
- ※ アップロードを途中で中止する場合は、「**停止**」を押してください。

画像をインポート画面

**画像をアップロード**

説明:  
 1.画像形式はjpgで、画像サイズは512KB未満でなければなりません  
 2.アップロードする画像には次の形式で名前をつけてください: 名前\_ID\_性別.jpg  
 3.アップロード画像サイズ: 最大960x960、最小30x30。

顔画像を選択:

番号	顔画像	名前	ID	性別	ステータス
1		<input type="text" value="Jack"/>	<input type="text" value="1000"/>	男性 ▼	<input type="button" value="正しく処理されました"/>

### 顔データベース

- 顔データベースに登録された登録者を一覧表示します。
- 登録者を検索するには、入力フォームに名前またはIDを入力して「**検索**」を押してください。
- 登録者顔画像下の「**編集**」を押すと、名前/ID/性別を編集できます。
- 登録者を削除する場合は「**削除**」を押してください。

顔データベース画面

入力フォーム

↓

検索ボタン

↓

顔データベース

  
 Kai  
1  
編集 削除

  
 Jones  
001  
編集 削除

  
 Lily  
002  
編集 削除

  
 Lucy  
003  
編集 削除

  
 Moku  
0004  
編集 削除

↑

登録者

前へ

次へ

▼

ページ

5個のデータ

## 顔認識の記録

- 本機により検出された検出者リストを表示します。
- 本検出者の情報には顔画像、名前（登録者のみ）、ID（登録者のみ）検出日時、登録者との類似度、検知温度が含まれます。
- 検出者情報を集計・分析するには、入力フォームにキーワードを入力し、「検索」を押してください。入力されたキーワードに基づき検出者がリスト表示されます。
- リストをエクセルファイルとして書き出す場合は、「エクスポート」を押してください。エクセルファイルが書き出されます。
- リスト内の検出者を顔データベースに登録するには「」を押し、名前/ID/性別を入力後「OK」を押してください。顔データベースに登録されます。「顔データベース (42ページ)」参照
- リストから削除する場合は「」を押してください。

顔認識の記録画面

集計・分析入力フォーム

検索ボタン

エクスポートボタン

番号	顔画像	名前	ID	時間	類似度	温度(°C)	操作
1		Kai	1	2020-12-07 08:30:26	0%	35.8	 
2		Jone	001	2020-12-07 08:32:33	0%	35.9	 
3		Lily	002	2020-12-07 08:50:14	0%	36.1	 
4		Lucy	003	2020-12-07 08:52:12	0%	36.2	 
5		Moku	00004	2020-12-07 08:53:18	0%	36.5	 

↑ 顔画像    ↑ 名前    ↑ ID    ↑ 検出日時    ↑ 登録者との類似度    ↑ 検知温度

## 設定・運用編

### 設定する(つづき)

#### Wiegand

- ウィーガンドプロトコルの設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。

#### Wiegand画面

Wiegand	
デバイスID:	0
ビット幅:	26 bit
<input type="button" value="保存"/>	

- デバイスID  
デバイスIDを設定します。  
設定値: ID番号 (【0】)

- ビット幅  
ビット幅を設定します。  
設定値: 【26bit】 / 34bit

## 複数台の端末を管理する

- 本機PC用ソフト「CMS-WTW123」を使用して、ビルや工場、施設内のネットワーク(LAN)に接続された端末(本製品)から送られる情報を一元管理できます。
- 端末ごとの情報を包括的に把握することで、より効率よく、認証条件や認証スケジュールを変更・設定できます。  
※認証条件や認証スケジュールなどの変更・設定は、ウェブブラウザで各端末にログインして行ってください。

### ■CMS-WTW123 へ認識情報を送るための準備(端末の設定)

- ブラウザの設定画面で、インテリジェント分析→顔検知→基本設定の「VMSにアップロード」にチェックを入れ、ページ下部の「保存」をクリックして下さい。

#### 顔検知

The screenshot shows the '顔検知' (Face Detection) configuration page. The left sidebar contains a navigation menu with '顔検知' selected. The main content area has a top bar with 'admin' and a breadcrumb trail: '基本設定' > '設定を保存' > '警告のリンク' > 'アーミングスケジュール' > '顔画像をインポート' > '顔データベース' > '顔認識の記録'. Below this is the 'Wiegand' section. The '顔検知' section contains the following settings:

- 顔検知
- 顔をマーク
- VMSにアップロード
- 識別データを保存 (すべて)
- 検知モード:  顔認識  ライブ検知  温度検知  マスク検知
- 保存期間: [すべて]
- 温度単位: [摂氏]
- 高温しきい値: [37.5] °C
- 低温しきい値: [30.0] °C

- 管理用のPCにCMS-WTW123をインストールしてください。下記リンクからダウンロードできます。  
<https://www.wtw.jp/ccd/download/software/WTW-IPWS1456TG.zip>  
ファイルを展開し、CMS-WTW123\_setup\_v1.0.1.17.exe を実行してください。  
(展開後のファイル名が変わることがあります)

## ■CMS-WTW123 の使用方法

### スーパーユーザー名・パスワードの登録

- CMS-WTW123を起動すると、スーパーユーザー名を登録する画面が表示されます。任意のユーザー名・パスワードを設定し、「作成」をクリックしてください。

※パスワードは、数字・英大文字・英小文字・特殊文字の2種類以上を組み合わせ、8-16文字で設定してください。  
ユーザー名と同じまたは反対にすることはできません。

※「記憶したパスワード」にチェックを入れると、パスワードをソフトに記憶させることができます。

ログインへようこそ

ログインへようこそ

① 最初にスーパーユーザー名を作成してください

記憶したパスワード

- セキュリティ保護用の質問を選択し、答えを入力して「ログイン」をクリックしてください。

パスワード保護

←パスワード保護

① セキュリティ保護用の質問を設定してください

1.好きなスターは誰ですか? ▼

質問1の回答を入力してください

5.中学校の校長の名前は何ですか? ▼

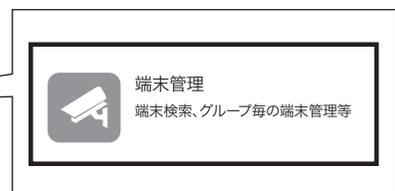
質問2の回答を入力してください

9.最初の仕事はどの町でしたか? ▼

質問3の回答を入力してください

### 端末機器の登録

- 「端末管理」をクリックしてください。



- 下部のオンラインデバイスの一覧から管理する端末機器を選び、左端のにチェックを入れ、「+管理に追加」→「追加」をクリックしてください。

端末管理

管理されているデバイス(0)

<input type="checkbox"/> 全て	デバイス名	デバイス同期	IP	デバイスタイプ	チャネル数	バージョン	状態	オペレーショ
<input type="checkbox"/> 全て	デバイス名	デバイス同期	IP	デバイスタイプ	チャネル数	バージョン	状態	オペレーショ
<input type="checkbox"/> 1	オフィス入口検温機	12321SSSL4S7	192.168.XX.00	IPC	2		いいえ	

オンラインデバイス(1)    全てのデバイス ▼  デバイス管理フィルタ

<input type="checkbox"/> 全て	デバイス名	デバイス同期	IP	デバイスタイプ	チャネル数	管理中
<input type="checkbox"/> 1	オフィス入口検温機	12321SSSL4S7	192.168.XX.00	IPC	2	いいえ

admin

- 上部の「管理されているデバイス」に機器が追加されます。状態が「デバイスオンライン」であることを確認してください。

管理されているデバイス(1)

<input type="checkbox"/> 全て	デバイス名	デバイス同期	IP	デバイスタイプ	チャネル数	バージョン	状態	オペレーショ
<input type="checkbox"/> 1	オフィス入口検...	12321SSSL4S7	192.168.XX.00	IPC	2	V2.3.6217.02-...	デバイスオンラ...	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="リフレッシュ"/>

オンラインデバイス(10)    全てのデバイス ▼  デバイス管理フィルタ

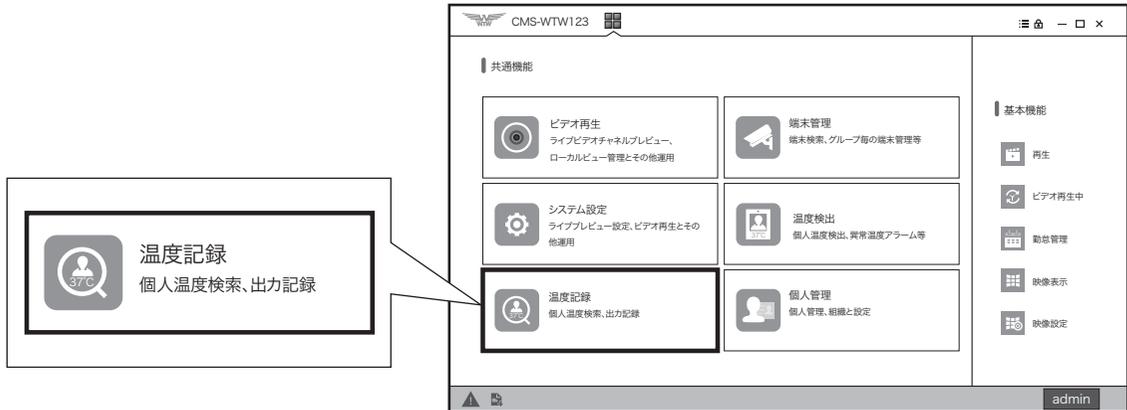
<input type="checkbox"/> 全て	デバイス名	デバイス同期	IP	デバイスタイプ	チャネル数	管理中
<input type="checkbox"/> 1	オフィス入口検温機	12321SSSL4S7	192.168.XX.00	IPC	2	はい

admin



検出記録の検索・表示

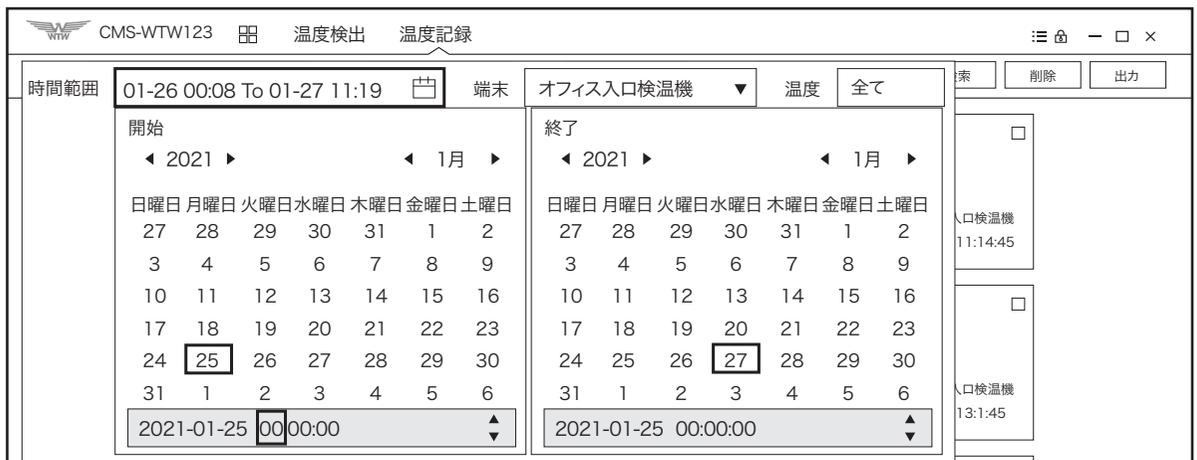
- 画面左上の「」からメニュー画面に戻り、「温度記録」をクリックしてください。



- 「時間範囲」と「端末」を指定して「検索」をクリックすると、検出結果が表示されます。「出力」をクリックすると、結果をファイルに出力できます。



- ※時間範囲は日付・時刻の指定が必要です。結果が表示されない場合は、時刻の指定をご確認ください。  
 (日付はカレンダーで指定可能です。時刻は下部の時刻表示部分でご指定ください。)



# モニター表示・音声アナウンス一覧

※すべて認証された場合の表記  
(体温:○ マスク:○ 本人:○)

## ● 認証条件

体表面温度測定：する | マスク：着用 | 顔認証：する

(体温:○ マスク:○ 本人:○)



正常温度です。  
認証成功です。

(体温:○ マスク:× 本人:○)



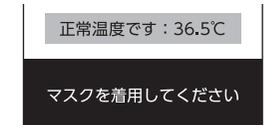
正常温度です。  
マスクを着用してください。

(体温:○ マスク:○ 本人:×)



正常温度です。  
認証失敗です。

(体温:○ マスク:× 本人:×)



正常温度です。  
マスクを着用してください。

(体温:× マスク:○ 本人:○)



基準値を超えた温度です。

(体温:× マスク:× 本人:○)



基準値を超えた温度です。

(体温:× マスク:× 本人:×)

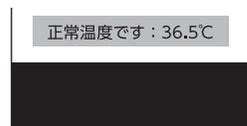


基準値を超えた温度です。

## ● 認証条件

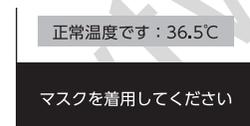
体表面温度測定：する | マスク：着用 | 顔認証：しない

(体温:○ マスク:○ 本人:—)



正常温度です。

(体温:○ マスク:× 本人:—)



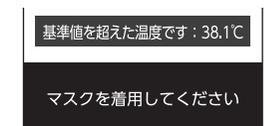
正常温度です。  
マスクを着用してください。

(体温:× マスク:○ 本人:—)



基準値を超えた温度です。

(体温:× マスク:× 本人:—)



基準値を超えた温度です。

## ● 認証条件

体表面温度測定：する | マスク：非着用 | 顔認証：する

(体温:○ マスク:— 本人:○)



正常温度です。  
認証成功です。

(体温:○ マスク:— 本人:×)



正常温度です。  
認証失敗です。

(体温:× マスク:— 本人:○)



基準値を超えた温度です。

(体温:× マスク:× 本人:—)



基準値を超えた温度です。

## ● 認証条件

体表面温度測定：しない | マスク：着用 | 顔認証：する

(体温:— マスク:○ 本人:○)



認証成功です。

(体温:— マスク:○ 本人:×)



認証失敗です。

(体温:— マスク:× 本人:○)



マスクを着用してください。

(体温:— マスク:× 本人:×)



マスクを着用してください。

# 故障かな？と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
マスク着用の有無や体表面温度が検知されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マスク着用の有無検知設定、体表面温度測定設定が無効になっていませんか。</li> <li>➡マスク着用の有無検知設定、体表面温度測定設定を有効にしてください。 設定項目：インテリジェント分析➡顔検知➡基本設定➡検知モード</li> </ul>	38
体表面温度を測定すると、異常な温度を表示する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品に熱を発するものを近づけたり、直射日光の当たる場所で使用していませんか。</li> <li>➡熱を発するものを近づけたり、直射日光の当たる場所で使用しないでください。 ※本製品と被検者との距離・範囲について詳しくは、40ページをご参照ください。</li> </ul>	5・15 ・23
音声アナウンスが流れない、音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーディオ出力設定が無効になっていたり、音量が小さくなっていませんか。</li> <li>➡オーディオ出力を適切に設定してください。 設定項目：映像と音声➡音声ストリーム。</li> </ul>	30
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカー部分がふさがれていませんか。</li> <li>➡スピーカー部分をふさいでいる原因を取り除いてください。</li> </ul>	10
表示や音声が他言語で表示されたり、アナウンスされる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語設定が他言語に設定されていませんか。</li> <li>➡ご使用の言語に設定してください。 設定項目：システム管理➡システム設定➡全般情報➡言語</li> </ul>	26
登録・保存されていた情報がすべて消えた	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保存期間が設定されていませんか。</li> <li>➡本製品は、プライバシー保護のため、設定された期間が経過すると自動的にすべての情報を消去します。 自動的に消去したくない場合は、保存期間を無効（未入力）に設定してください。 設定項目：インテリジェント分析➡顔検知➡基本設定➡保存期間</li> </ul>	38
ウェブブラウザで設定・閲覧できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [Microsoft Edge] [Internet Explorer] などは、一部の機能が正常に設定できない場合があります。</li> <li>➡ [Google Chrome] [Firefox] などをご使用ください。</li> </ul>	24

## 故障かな？と思ったとき(つづき)

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
顔認証ができない、顔認証速度が遅い、顔認証に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●顔認証機能が有効になっていますか。</li> <li>➡顔認証機能を有効にしてください。</li> <li>設定項目：インテリジェント分析➡顔検知➡基本設定➡検知モード</li> </ul>	38
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認証者の顔が登録されていますか。</li> <li>➡認証者の顔を登録してください。</li> <li>設定項目：インテリジェント分析➡顔検知➡顔画像をインポート</li> </ul>	41
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●顔が顔認識マーカールの範囲に入っていますか。</li> <li>➡顔が顔認識マーカールの範囲に入るように移動してください。</li> </ul>	23
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体が適切な向きや高さで設置されていますか。</li> <li>➡本体の向きや高さを調節し、適切に設置してください。</li> </ul>	17
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●顔が覆われていたりしていませんか。</li> <li>➡以下の項目を確認し、原因を取り除いてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下を向いたり横を向いたりしている</li> <li>・サングラスや帽子をつけている</li> <li>・顔が前髪やひげなどで覆われている</li> <li>・手やハンカチなどで顔を覆っている</li> </ul> </li> </ul>	23
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体やカメラに直射日光が当たっていませんか。</li> <li>➡直射日光の当たる場所で使用しないでください。</li> </ul>	5・15 ・23
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の顔認識カメラ、LEDランプ面が汚れていませんか。</li> <li>➡顔認識カメラ、LEDランプ面のお手入れを行ってください。</li> </ul>	52
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●顔情報データベースの登録件数が20,000件を超えていませんか。</li> <li>➡顔情報データベースの登録件数が20,000件を超えると、顔認証速度の低下などの影響が出る場合があります。未使用の登録者情報を削除するなど、顔情報データベースの登録件数を20,000件以下にしてください。</li> <li>設定項目：インテリジェント分析➡顔検知➡顔データベース</li> </ul>	42

※上記解決方法を行っても症状が改善されない場合は、弊社までご連絡ください

# お手入れのしかた

<b>⚠ 警告</b>	● お手入れの際は、本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。
-------------	---

<b>⚠ 注意</b>	● シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤・アルカリ性の洗剤などを使用してお手入れをしないでください。本製品の故障・劣化の原因となります。 ● 本体のすき間や穴に異物を入れないでください。故障・火災・感電の原因となります。 ● 体表面温度測定カメラ（サーマルカメラ）に直接触らないでください。故障・劣化の原因となります。
-------------	--

## お願い

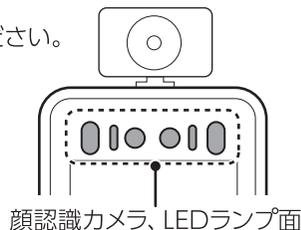
- お手入れを行うときはACアダプターをコンセントから抜き、電源を切って行ってください。接続環境や使用状況により電源が切れない場合は、お手入れ中に外部装置が誤動作しないように注意してお手入れを行ってください。

## 本体

- 本体表面（モニター画面以外）の汚れは、水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。
- ※ 本体底部のスピーカー穴から水分が入らないように注意してお手入れを行ってください。

## モニター画面

- 眼鏡用のクリーニングクロスなど乾いた柔らかい布を使用し、モニター表面を同じ方向にゆっくり拭いてください。
- 落ちにくい汚れは、水を含ませたクリーニングクロスなどの柔らかい布を固くしぼり、ゆっくり拭き取ってください。水拭きしたあとは水滴が残らないようから拭きしてください。
- モニター表面の顔認識カメラ、LED ランプ面も同様にお手入れを行ってください。
- ※ 強くこすったり、爪で引っかいたりしないでください。モニター表面に傷が付くおそれがあります。
- ※ 顔認識カメラ部分などに汚れが残っていると、誤検知・誤動作の原因となります。



## 体表面温度測定センサー

- カメラ用ブローアー・ブラシなどを使用し、顔認識カメラの表面に付着したホコリをゆっくり吹き飛ばしてください。
  - ※ 顔認識カメラは直接触らないでください。故障したり、カメラの角度が変わり誤検知・誤動作の原因となります。
- 付着したホコリや汚れや取れない場合は、お買い上げの販売店かお客さまご相談窓口にご相談ください。お客さまご相談窓口➡54ページ



## お手入れのあとは

- ACアダプターをコンセントにさし込み、本製品の電源を入れてください。
- 電源投入後は、以下の項目をご確認ください。
  - ・本製品の認識機能（顔認証・体表面温度検知・マスク着用有無の検知など）が正常に行われているか確認する。
  - ・本製品が正常にネットワークに接続されているか、ウェブブラウザで接続確認する。
- ※ 本製品や動作に異常を感じたら、お買い上げの販売店かお客さまご相談窓口にご相談ください。お客さまご相談窓口➡54ページ

# スペック

商品名	WTW-IPWS1456TG (体温計カメラ) WTW FSSC
<b>体温測定モジュール</b>	
体温測定センサー	ディスプレイ上部に搭載
測定距離	測定距離：0.3～0.6m 測定高さ：1.2～2.2m (※1)
温度測定範囲	30～45℃
温度測定精密性	±0.3℃
<b>映像出力性能</b>	
カメラセンサー	265万画素 1920×1080 CMOSセンサー
映像出力解像度	最大1080×1920(縦)
本体ディスプレイ	8インチモニター
<b>カメラハードウェア性能</b>	
オーディオ入力	無
オーディオ出力	本体スピーカー有
顔データベース	20,000件以上 (※2)
顔認証時間	1秒未満
<b>録画性能</b>	
録画解像度	無
音声録音	無
<b>投光性能</b>	
赤外線LED	有(6灯)
ホワイトLED	有(2灯)
ICR	無
<b>インターフェイス</b>	
LAN端子	イーサネット10BaseT/100BaseTX/Auto-MDIX対応 RJ-45端子
Onvif	非対応
無線LAN	無
電源入力端子	DC12Vコネクタ
<b>電源・カメラ本体・その他</b>	
本体材質	ダイキャスト
本体配色	ボディ：シルバー ディスプレイ前面・取付基台台座部：ブラック
外形寸法	ディスプレイ・基台一体：250(W)×149(H)×250(D)mm モニター単体：150(W)×270(H)×25(D)mm ※体温測定センサー、基台部含まず
バッテリー	無
動作温度	+15℃～35℃
重量	約2.5kg ※ブラケット、固定リングを含む
電源	DC12V, 3.33A
付属品	ACアダプター、電源コード、ブラケット、固定リング、LANケーブル、アタッチメント(7個)、六角レンチ

※1…推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

※2…本製品の推奨上限登録件数は20,000件です。登録件数が20,000件を超えると、顔認証速度の低下などの影響が出る場合があります。

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス

## 保証書

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で発行しますので、保証書の「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## 修理サービス

使用中に具合が悪くなったときは、上記の「故障かな?と思ったとき」に従って調べてください。直らないときは、内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、弊社にご相談ください。

- 保証期間中は、弊社保証規定に基づき、無償修理または交換対応をさせていただきます。過失による破損等、保証対象外となる場合は、保証期間内であっても有償修理となりますこと、ご了承ください。
- 保証対応は、まず機器を弊社までお送りいただき、修理品または交換品をご返送する SEND BACK 方式となります。代替機を先行してお送りすることはできかねますのでご了承ください。
- お届け後14日以内の不具合は初期不良対応となり、弊社への送料は弊社負担となります。お届け後15日以降の不具合については、弊社への送料はお客様のご負担となり、修理または交換対応を無償にてご提供させていただきます。

## 「顔認証機能付きサーモセンサーシステム」の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・ACアダプター・電源コードが異常に熱くなる。
- 電源プラグ・ACアダプター・電源コードに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用  
中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ず **弊社へ点検・修理** をご相談ください。

## お客さまご相談窓口

### お客さまご相談窓口

#### 商品についての全般的なご相談

- ・お電話 059-387-8000 (10~17時 土日祝・弊社休日を除く)
- ・お問い合わせフォーム <https://www.wtw.jp/CCD-INFO.htm>  
(ご注文サイトのお問い合わせフォームでも承ります)

## お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

### <利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

### <業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。



## 保証書

本書は本書記載内容により、無料修理を行うことをお約束するものです。

お 客 様	〒	TEL	機種名	製造No.
	ご住所		WTW-IPWS1456TG	
様	お名前	ふりがな	お 買 い 上 げ 販 売 店	住所
				〒
保 証 期 間	ヶ月	お買い上げ日	TEL	店名
		年 月 日から 年 月 日まで		

販売店様へのお願ひ: 本保証書に貴社の記入認印、及びお買い上げ日の記入のないものは無効です。必ずご記入ください。

### 保証規定

この保証書は、本書に明記した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合はお買い上げ販売店または弊社にお問い合わせ下さい。

- 取扱説明書等の注意に従った正常な使用状態で万一故障した場合には、保証期限内無償修理をさせていただきます。
- 保証期間内においても、次のような場合には有償修理となります。
  - (イ) 本保証書のご提示がない場合。
  - (ロ) 本保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの、及び販売店名の表示のないもの
  - (ハ) お買い上げ後の取付場所の移動・輸送・事故・落下等による故障または損傷。
  - (ニ) 火災・地震・落雷・水害・塩害・公害その他の天災地変及び異常電圧・指定外の使用電源などによる故障または損傷
  - (ホ) ご使用上の誤り、不当な修理・調整・改造による故障及びそれらが原因により生じた故障、または故障の原因が本製品以外の機器等にある場合
  - (ヘ) 本来の目的以外にご使用された場合の故障及び損傷。
  - (ト) 製品番号の改変及び取り外した製品
  - (チ) トランジスタ ケーブル等消耗品に類するもの。
  - (リ) 他の要因・取付不備・電波障害・設備場所などにより正常に動作しない場合。
- 修理を依頼される場合には、お買い上げの販売店または弊社サービス係へ保証書を添えてご持参下さい。やむを得ず郵送される場合は、送料をご負担下さい。
- 本保証書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。
- この保証書は日本国内のみについて有効です This warranty is valid only in Japan
- 予告なしに当機種のモデルチェンジ、改良などを行うことがあります。お買い上げの製品に関しましては改良などの申し受けを致しません

株式会社 塚本無線

〒510-0256 三重県鈴鹿市磯山1丁目16-21  
TEL 059-387-8000 (代表) FAX 059-387-6999

wtw.jp



**株式会社 塚本無線**

〒510-0256

三重県鈴鹿市磯山1丁目16-21

TEL 059-387-8000 ( 平日 10時~17時 )

**お問い合わせ窓口**

<https://www.wtw.jp/CCD-INFO.htm>

メモ